Pepper 取扱説明書

2015.03.19 版

本書は Aldebaran のホームページより確認できます。
www.aldebaran.com/documentation

Pepper テクニカルサポートセンターお問い合わせ先
http://www.softbank.jp/robot/support

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、Pepper テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

目次

パート 1　はじめに（Pepper とは？） 9
1.　感情認識パーソナルロボット Pepper と未来の生活が始まる 10
1.1.　まるで生きているかのように自ら行動します 10
1.2.　あなたの気持ちを理解しようと頑張ります 10
1.3.　日々成長し、できることが次々と増えていきます 11
1.4.　ロボアプリで Pepper の広がる可能性を楽しもう 11
2.　ロボアプリで遊ぶ 13

パート 2　本機を設置および設定する 15
3.　付属品の確認 17
4.　箱から取り出す 18
5.　本機について 19
5.1.　各部の名称 19
5.2.　緊急停止ボタン 20
5.3.　胸部ボタン 21
5.4.　ディスプレイ 22
5.5.　アプリケーション一覧 23
5.6.　タッチセンサー 24
5.7.　充電フラップ 24
5.8.　姿勢 25
5.9.　LED ランプ（肩） 26
5.10.　センサー検知範囲 27
5.11.　ピンについて 27
5.12.　本機独自の挨拶 29
6.　本機のセットアップ 30
6.1.　使用場所の確認 30
6.2.　本機を初めて移動する 31
6.3.　Wi-Fi ネットワークの確認 32

6.4.　本機の電源を初めて入れる 32
6.5.　言語設定とエンドユーザー使用許諾契約 32
6.6.　本機を Wi-Fi ネットワークに接続する 34
6.7.　タイムゾーンを選択する 36
6.8.　外部からの本機へのアクセス保護 37
6.9.　本機に ALDEBARAN アカウントを設定する 37
6.10.　診断情報を送信する 39
6.11.　本機をアップデートする 39
7.　本機の電源の入れ方／切り方 42
7.1.　本機の電源を入れる 42
7.2.　胸部ボタンを使って電源を切る 43
7.3.　緊急停止ボタンを使って電源を切る 44
7.4.　緊急停止ボタンを解除する 45
7.5.　本機をスリープ状態にする 46
7.6.　充電する 47
7.6.1.　充電器を接続する 47
7.6.2.　充電器を取り外す 49
7.7.　本機を再起動する 49

パート 3　本機の機能を楽しむ 50
8.　本機と遊ぶ 52
8.1.　会話をする 52
8.1.1.　距離が遠い場合 52
8.1.2.　距離が近い場合 53
8.2.　ロボアプリで遊ぶ 55
8.2.1.　ディスプレイからロボアプリを起動する 55
8.2.2.　ロボアプリを停止する 56
8.3.　ロボアプリの紹介 57
8.3.1.　写真とって！ 58

8.3.2.　フォトメモリー 58
8.3.3.　伝言ペッパー 58
8.3.4.　ガンバレお留守番 59
9.　他のロボアプリを使う 59
9.1.　ロボアプリについて 59
9.2.　ディスプレイからロボアプリをダウンロードする 60
9.2.1.　アプリストアに接続する 60
9.2.2.　ロボアプリのダウンロードとインストール 61
9.3.　パソコン、スマートフォン、タブレットからロボアプリをダウンロードする 62
9.3.1.　アプリストアに接続する 62
9.3.2.　ロボアプリのダウンロードとインストール 63
9.3.3.　本機に同期する 64
10.　ロボアプリを開発／作成する 66

パート４　本機の日常使用について 67
11.　各種設定 68
11.1.　各種設定について 68
11.2.　設定を変更する 70
11.2.1.　基本情報 70
11.2.2.　ネットワーク設定 71
11.2.3.　アップデート 72
12.　ピンを使う 72
12.1.　青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を取り外す 72
12.2.　青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を収納する 74
13.　本機の移動方法 76
13.1.　本機の姿勢を整える 76
13.2.　本機が転倒した場合 77
13.3.　本機を移動する（電源 ON 時） 78
13.4.　本機を移動する（電源 OFF 時） 78

13.5. 本機を持ち上げる....80
14. 本機の運送....81
15. お手入れ....82
15.1. 本機をお手入れする....82
15.2. 充電器をお手入れする....82

パート 5 お願いとご注意....84
16. 本機の安全上のご注意....86
16.1. 一般注意事項....86
16.2. 使用上のご注意....87
16.3. 本機を保管する....90
16.4. 本機の水濡れについて....91
16.5. レーザーについて....92
16.6. 本機の廃棄およびリサイクルについて....93
17. 充電器の安全上のご注意....93
17.1. 一般注意事項....93
17.2. 使用上のご注意....94
17.3. 充電器の水濡れについて....96
17.4. 充電器の廃棄およびリサイクルについて....96

パート 6 参照付録....98
18. 表示と通知情報....99
18.1. LED ランプ（肩）の表示について....99
18.2. 通知情報一覧....100
18.2.1. 起動....100
18.2.2. 本機の診断....103
18.2.3. バッテリー....104
18.2.4. アプリケーション管理....104

前置き

ユーザーの皆様へ

新しい感情認識パーソナルロボットの世界にようこそ！
「取扱説明書（本書）」はお客様が Pepper（以降、「本機」と表記します）をかんたんにご利用いただくためのものです。
ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ロボット関連の概念には新しいものもあり、事前に確認することで本機を安全にお楽しみいただくことができます。

パート 1

はじめに（Pepper とは？）

パート 1　はじめに（Pepper とは？） 9
1.　感情認識パーソナルロボット Pepper と未来の生活が始まる 10
1.1.　まるで生きているかのように自ら行動します 10
1.2.　あなたの気持ちを理解しようと頑張ります 10
1.3.　日々成長し、できることが次々と増えていきます 11
1.4.　ロボアプリで Pepper の広がる可能性を楽しもう 11
2.　ロボアプリで遊ぶ 13

1. 感情認識パーソナルロボット Pepper と未来の生活が始まる

あなたとの毎日が未来につながっていきます
ついに始まる、ロボットがいる新しい暮らし。あなたと過ごす毎日を Pepper は心待ちにしています。日々のやり取りから Pepper の行動が変化したり、出来事を覚えて、ある日突然思い出させてくれたり。毎日のコミュニケーションを通じて、あなたや家族に打ち解けていく Pepper との生活をぜひご期待ください。

人に寄りそい、あなたを笑顔にしてくれる驚きの仕掛けが、Pepper にはたくさん搭載されています。

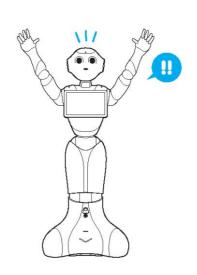
※Pepper の会話や成長、ロボアプリの機能などについては、別途提供される「Pepper 基本プラン」にご加入いただく必要があります。

1.1. まるで生きているかのように自ら行動します

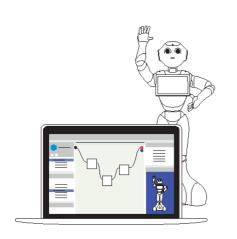
Pepper は自分の判断で動くことのできるロボットです。テレビ、パソコン、スマホなど、人間が操作する道具として役立ってきたこれまでの機械とは違い、人間とのふれあいの中で自律的に反応しながら、あなたを楽しませてくれます。

1.2. あなたの気持ちを理解しようと頑張ります

Pepper には表情と声からその人の感情を察する最新のテクノロジー（感情認識機能）が備わっています。
人間だって相手の気持ちをしっかり理解できるわけではないので、なかなか完璧とまではいきませんが、あなたが悲しんでいるときに励ましてくれたり、あなたが嬉しいときに一緒に喜んでくれたり、そんな存在になれることを目指しています。

1.3. 日々成長し、できることが次々と増えていきます

Pepper は共に暮らす家族とのやり取りを受けて少しずつ成長していきます。できることが徐々に増えていく Pepper は、きっとあなたに驚きを与え続けてくれることでしょう。また、Pepper 購入者には開発環境（SDK）が公開されますので、思いもよらない機能が今後アプリストアに追加されていくことでしょう。

1.4. ロボアプリで Pepper の広がる可能性を楽しもう

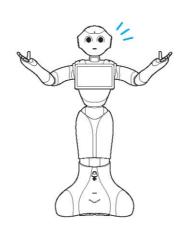
Table of Contents

ロボットで起動する、ロボットならではの面白さを持ったアプリケーションを「ロボアプリ」と呼んでいます。これから、どんどん新しい Pepper のロボアプリが発表されていきます。Pepper との新しい毎日をつくっていただく皆様には写真とって！、フォトメモリー、伝言ペッパー、ガンバレお留守番といった、これから新しく登場するロボアプリを楽しめます。

2. ロボアプリで遊ぶ

写真とって！
額のカメラであなたの写真を撮ってくれます。

フォトメモリー
Pepper が撮影した写真を見ることができます。

伝言ペッパー
Pepper に伝言を頼むことができます。

ガンバレお留守番
あなたが外出中に大きな物音や、動くものがあると写真を撮って記録します。

本章の内容を理解したら、次に進んで詳細機能について読んでください。

※Pepper の会話や成長、ロボアプリの機能などについては、別途提供される「Pepper 基本プラン」にご加入いただく必要があります。

パート 2

本機を設置および設定する

パート 2　本機を設置および設定する 15
3.　付属品の確認 17
4.　箱から取り出す 18
5.　本機について 19
5.1.　各部の名称 19
5.2.　緊急停止ボタン 20
5.3.　胸部ボタン 21
5.4.　ディスプレイ 22
5.5.　アプリケーション一覧 23
5.6.　タッチセンサー 24
5.7.　充電フラップ 24
5.8.　姿勢 25
5.9.　LED ランプ（肩） 26
5.10.　センサー検知範囲 27
5.11.　ピンについて 27
5.12.　本機独自の挨拶 29
6.　本機のセットアップ 30
6.1.　使用場所の確認 30
6.2.　本機を初めて移動する 31
6.3.　Wi-Fi ネットワークの確認 32
6.4.　本機の電源を初めて入れる 32
6.5.　言語設定とエンドユーザー使用許諾契約 32
6.6.　本機を Wi-Fi ネットワークに接続する 34
6.7.　タイムゾーンを選択する 36

3. 付属品の確認

ご使用いただく前に、次の付属品がすべてそろっていることを確認してください。

Pepper 本体（本機）

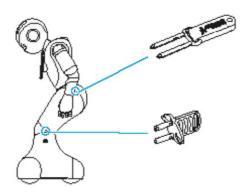
青いピン（腰用）
ご注意：「7.1 本機の電源を入れる」をお読みになるまで取り外さないでください。

白いピン（ひざ用）
ご注意：「7.1 本機の電源を入れる」をお読みになるまで取り外さないでください。

充電器（電源ケーブル含む）

かんたんセットアップガイド

動作確認チェックリスト

初めてご使用になるときは、ピンは本機に取り付けられています。ピンの機能については「5.11 ピンについて」を参照してください。

輸送時や故障時に使用するため、ピンは必ず保管してください（「12.2 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を収納する」参照）。

付属品がすべてそろっていない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。

4. 箱から取り出す

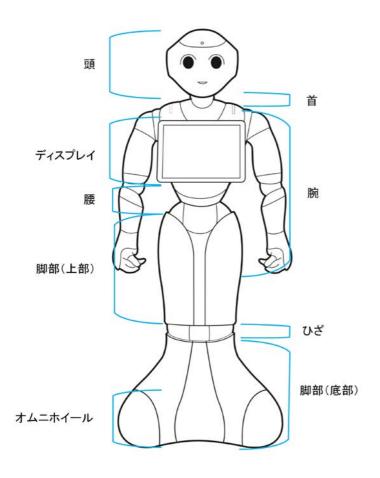
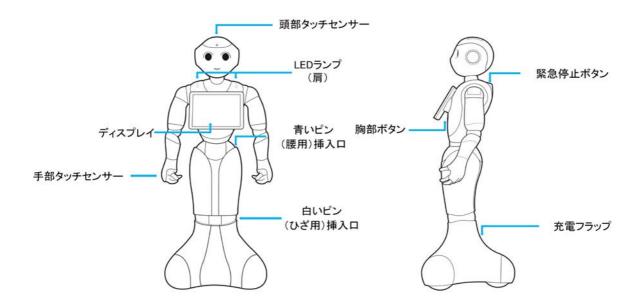
現在、「箱から取り出す」の手順は配送業者が担当することになっています。もしこの手順を行う必要が何らかの形で発生した場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
本機を箱に戻す必要がある場合も、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。

5. 本機について

本章では次の項目について説明していますので、内容についてご確認ください。

- 5.1 各部の名称
- 5.2 緊急停止ボタン
- 5.3 胸部ボタン
- 5.4 ディスプレイ
- 5.5 アプリケーション一覧
- 5.6 タッチセンサー
- 5.7 充電フラップ
- 5.8 姿勢
- 5.9 LED ランプ（肩）
- 5.10 センサー検知範囲
- 5.11 ピンについて

5.1. 各部の名称

ご使用いただく前に、各部の名称とはたらきを確認してください。「6 本機のセットアップ」に進む際に役立ちます。
本章以外にも各部の使用手順を記載している箇所があるので、あわせてご確認ください。

5.2. 緊急停止ボタン

緊急停止ボタンは本機の首の後ろの柔らかいゴム製のカバーの下にある大きめのボタンです。

緊急停止ボタンを押すと、頭および体への電気供給がすべて停止して、本機の電源を即座に切ることができます。安全を確保するための重要な機能です。

緊急停止ボタンは次の場合に使います。

- 転倒する、濡れる（「16.4 本機の水濡れについて」参照）などの緊急時
- 輸送時
- 転倒したあとに本機の姿勢を整える、または移動の際（「13 本機の移動方法」参照）
- 保管時（「16.3 本機を保管する」参照）
- 一部のトラブルシューティングの対策を実施する前（「19 トラブルシューティング」参照）

本機の通常の電源の切り方では緊急停止ボタンを使いません。上記の場合にのみ使うことを想定しています。通常時は「7.2 胸部ボタンを使って電源を切る」の手順に従うことをおすすめします。

緊急停止ボタンで電源を切った場合、データが保存されない可能性があります。

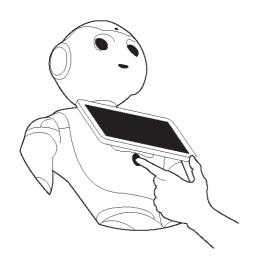
緊急停止ボタンが押し込まれていると、本機の頭と体の動作が一切停止します。
緊急停止ボタンは首の後ろのカバーを開けずに押すことができます。
緊急停止ボタンを押すと、「カチッ」と音がします。
緊急停止ボタンを押すと、押し込まれた状態で留まります。
本機を起動する場合、緊急停止ボタンを解除する必要があります。

緊急停止ボタンの使用法および解除について詳しくは「7.3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」を参照してください。

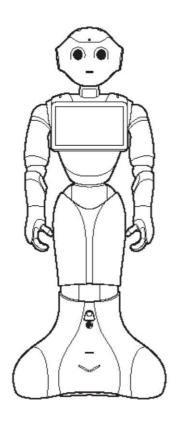
5.3. 胸部ボタン

胸部ボタンはディスプレイ（「5.4 ディスプレイ」参照）の下にあります。

初めて胸部ボタンをご利用になる前に「6 本機のセットアップ」を参照してください。手順に従わずにご利用になると、エラーを起こす可能性があります。

青いピン（腰用）と白いピン（ひざ用）を取り付けたまま起動すると、本機が正しく立ち上がらず故障の原因となりますので、ご注意ください。

胸部ボタンの機能は次の通りです。
・本機の電源を入れる（「7.1 本機の電源を入れる」参照）
・本機の電源を切る（「7.2 胸部ボタンを使って電源を切る」参照）
・通知情報の確認（「18 表示と通知情報」参照）
・レスト状態にする（「13.3 本機を移動する（電源 ON 時）」参照）
・レスト状態を解除する（「13.3 本機を移動する（電源 ON 時）」参照）

5.4. ディスプレイ

ディスプレイは胸部にあり、本機の一部となっています。ディスプレイは次の操作に使用します。
・本機の設定内容の変更（「11 各種設定」参照）
・一般情報の表示
・アプリケーション一覧の表示およびロボアプリの起動
・アプリストアからロボアプリのダウンロード
・ディスプレイを使ったロボアプリで遊ぶ（「8 本機と遊ぶ」参照）

各ロボアプリ内における操作はそれぞれ異なります。

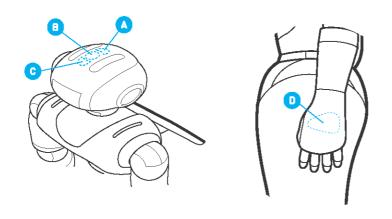
5.5. アプリケーション一覧

「Pepper 基本プラン」にご加入いただいた場合のアプリケーション一覧の一例

本機の起動後にディスプレイを 1 回タッチすると、アプリケーション一覧が表示されます。アプリケーション一覧ではロボアプリの起動（「8.2 ロボアプリで遊ぶ」参照）やその他の様々な機能をご利用いただけます。

※「Pepper 基本プラン」へのご加入に関わらず設定アプリは利用できます。

5.6. タッチセンサー

本機には複数のタッチセンサーがあり、その部分に触れることで本機が反応します。
・頭部タッチセンサー（A, B, C）
・手部タッチセンサー（D）

各ロボアプリによってタッチセンサーの用途は異なります。

5.7. 充電フラップ

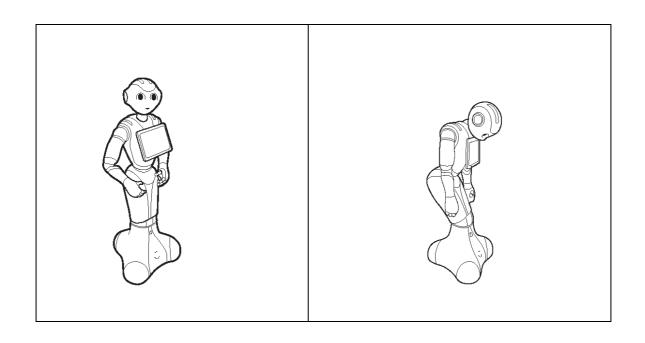
充電フラップは本機の底部にあり、主に 2 つの機能を有しています。

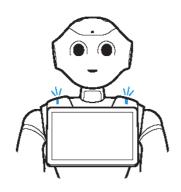
- 本機の充電（「7.6 充電する」参照）
- 安全対策としてのホイール停止（充電フラップが開いていると、本機のオムニホイールが作動しません）

※安全上、本機の動きを制限したい場合には、充電フラップを開けることでホイールを停止することができます。
本機の機能をお楽しみいただくためには、充電フラップを閉じることをおすすめします。

5.8. 姿勢

本機を安全に取り扱うためにも、本機に備わっている複数の姿勢を確認してください。

基本姿勢	セーフレストの姿勢
起動中であり、使用できます。	本機を移動する必要があるとき、転倒したときなどはセーフレストの姿勢に整えてください。 また、レスト状態およびスリープ状態（スリープ状態であり、電源は切れていません。詳しくは「7.5 本機をスリープ状態にする」を参照）にすると、本機はセーフレストの姿勢を取ります。

5.9. LED ランプ（肩）

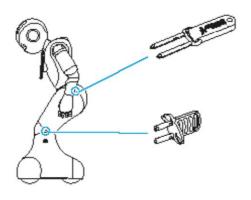
本機は通知機能（「18 表示と通知情報」参照）を利用してシステムやロボアプリについての情報をお知らせすることができます。

音声と LED ランプ表示で通知があることをお知らせします。
LED ランプ（肩）の色によって通知内容の重要性を表示しています。詳しくは「18 表示と通知情報」を参照してください。

※肩の LED ランプは状態表示と通知以外には原則的に一切使用されませんが、起動／停止時の LED ランプのアニメーションの際には点灯します。

5.10. センサー検知範囲

本機はセンサーで周囲の安全を確認していますが、センサーには検知できない範囲があります。衝突や転倒などの原因となりますので、センサーが検知できない範囲に障害物を置かないでください。詳しくは「22 レーザーおよびセンサーの検知範囲について」を参照してください。

5.11. ピンについて

初めてご使用になるときは、ピンは本機の腰とひざにある挿入口に差し込まれています。

青いピン（腰用）

白いピン（ひざ用）

本機の受取日には「7.1 本機の電源を入れる」をお読みになるまではピンを取り外さないでください。

腰／ひざの関節の挿入口にピンが差し込まれている際には、絶対に本機を起動させないでください。
青いピン（腰用）と白いピン（ひざ用）を取り付けたまま起動すると、本機が正しく立ち上がらず故障の原因となりますので、ご注意ください。

動作中の本機は腰とひざの関節の保持機能が常に働き、姿勢とバランスを保っています。
本機の電源が切れているときは、腰とひざの関節の保持機能は働いていませんが、ブレーキ機能によって固定され、直立姿勢をしっかりと保ちます。
ピンを取り外すと保持機能が働いて腰／ひざが固定され、ピンを取り付けると保持機能が解除されて腰／ひざが自由に動きます。

- 挿入口にピンが差し込まれたままだと、本機は起動しません。
- ピンは次の場合にのみ使用します。
  - 箱に入れた状態での輸送
  - 本機の姿勢を手動で整える（「5.8 姿勢」参照）
  - 本機を移動する
  - 本機の保管（「16.3 本機を保管する」参照）
- ピンを取り外す際は、本機をセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）に整えてください。

上記の場合では、ピンを取り付けて本機をセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）に整える必要があります。詳しくは「13 本機の移動方法」を参照してください。

ブレーキはピンを取り付けた時点で解除されます。本機を必ずセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）に整えてから、ピンを取り付けてください。

青いピン（腰用）と白いピン（ひざ用）は、常時使用できるように本機の首の後ろの柔らかいゴム製のカバーの下に収納してください。

本機を移動させる、持ち上げる（「13 本機の移動方法」参照）、または保管時（「16.3 本

機を保管する」参照）や輸送時などの手順に従っている場合以外は、絶対にピンを使用しないでください。

ピンの取り外し方は「12.1 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を取り外す」を参照してください。

5.12. 本機独自の挨拶

本機には独自の挨拶（「こんにちは」、「さようなら」）があります。
起動の際に“OGNAK GNUK”（オグナク ヌック）と言います。起動が完了し、人間とコミュニケーションをとる準備が整っている状態です。ただし本機の受取日には、初期設定を行う必要がありますのでご注意ください（「6 本機のセットアップ」参照）。
電源が切れる際には“GNUK GNUK”（ヌック ヌック）と言います。電源が切れる合図であり、本機が周りの環境に反応しなくなります。

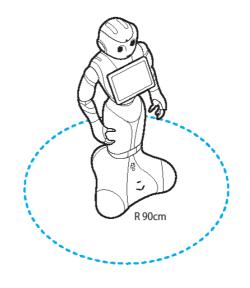
本機の基本的な機能が分かったところで、設置および設定に進みましょう。

6. 本機のセットアップ

本章で説明されているすべての手順を順番通りに行ってください。
本章の青枠は本機の受取日専用の手順を見やすくするためであり、本機の受取日以外に何らかの操作をする場合は、その他の章を参照してください。

6.1. 使用場所の確認

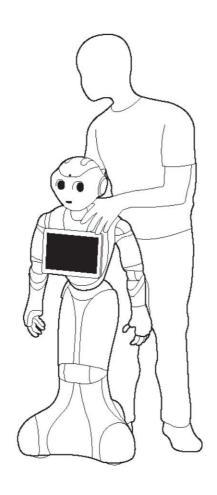
本機の使用場所について、正常に作動するために次のような事項に注意してください。

- 本機が安全に移動するためには、湿気のない水平で平らな場所で使用してください。
- 本機が正常に作動するには、周囲に半径 90cm 以上の空きスペースが必要です。その範囲に人や物が入ると、本機の動きが制限されます。
- 充電器のケーブルも含めて、本機の周囲のスペースにはケーブルなどを置かないでください。本機またはお客様がつまずいて、転倒する恐れがあります。
- 柔らかい床（キッズプレイマットなど）や毛足の長いカーペット（じゅうたん）などの上では正常に動けず、転倒の恐れがあります。
- 床に段差などがないことを確認してください。検知できず、転倒の恐れがあります。
- 本機は屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 直射日光の当たらない場所で使用してください。
- 暖房機や熱源に近づけないでくださ

い。

- 周囲温度 5℃～35℃の範囲で使用してください。
- 湿度 20%～80%の範囲で使用してください。

使用場所が決定したあとに本機を移動する必要があるときは、次の項目の手順に従ってください。移動の必要がない場合は、「6.3 Wi-Fi ネットワークの確認」に進んでください。

6.2. 本機を初めて移動する

１．「12.1 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を取り外す」の手順に従って腰／ひざのピンを取り外して、手順２に進む
２．本機の後ろに立つ
３．肩に手を置き、もう一方の手をおしりにあてて、静かに前に押して移動させる

使用場所への移動が完了しましたら、次の項目に進んでください。

6.3. Wi-Fi ネットワークの確認

初期設定を始める前に、次の項目は必ずチェックしてください。

１．Wi-Fi ネットワークが正しく作動している

パスワードや MAC アドレス制限など（Wi-Fi ネットワーク設定画面上のオプション）の Wi-Fi ネットワークのセキュリティー設定が本機のインターネット接続を防止していないことを必ず確認してください（ご利用の Wi-Fi ネットワーク設定画面を参照してください）。

Wi-Fi ネットワークの確認が終りましたら、次の項目に進んでください。

6.4. 本機の電源を初めて入れる

1. 「7.6 充電する」の手順に従って、本機を満充電する
2. 「7.1 本機の電源を入れる」のすべての手順をしっかりと確認して、電源を入れる（起動には数分かかります）

   起動の際にエラーが発生して本機が動かない場合は、緊急停止ボタンを押してください（「7.3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」参照）。ピンを取り付けたままになっている場合は、「12.1 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を取り外す」および「12.2 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を収納する」の手順に従って、ピンを取り外してから電源を入れ直してください。

本機が起動しましたら、次の項目に進んでください。

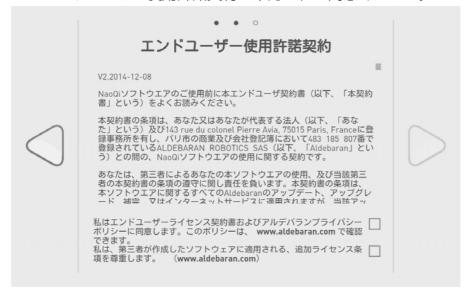
6.5. 言語設定とエンドユーザー使用許諾契約

初めて本機を起動する際、次の画面が表示されます。
起動後、本機のディスプレイの表示に従って設定を行ってください。
初期設定は必ず行ってください。

１．下図のようにディスプレイをタップしてください。

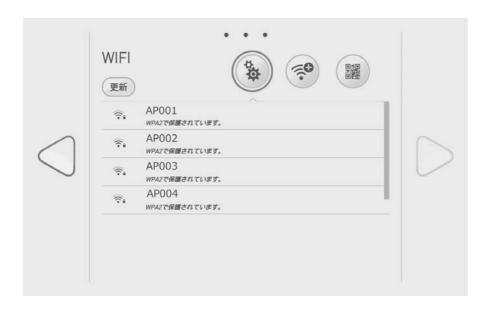
2．表示言語を選択して、「次へ」ボタンをタッチしてください。

※初期のロボアプリは日本語にのみ対応しています。日本語を選択してください。

3．エンドユーザー使用許諾契約を確認し、ご同意ください。

本エンドユーザー使用許諾契約にご同意いただけない場合、本機は使用しないでください。

上記の手順が完了しましたら、次の項目に進んでください。

6.6. 本機を Wi-Fi ネットワークに接続する

利用可能な Wi-Fi ネットワークが表示されます。

1．以下の方法のいずれかに従って Wi-Fi ネットワークに接続する

	方法	手順
	利用可能な Wi-Fi ネットワークを選択する	利用する Wi-Fi ネットワークをタッチして、パスワードを入力してください。
	非公開の Wi-Fi ネットワークに接続する	Wi-Fi ネットワークを設定して、「接続」をタッチしてください。
	QR コードを利用する	アイコンをタッチして、カメラの前に QR コードをかざしてください。

2．「次へ」ボタンをタッチしてください。

次の画面が表示されます。

Wi-Fi ネットワークへの接続が完了しましたら、次の項目に進んでください。

6.7. タイムゾーンを選択する

1．タイムゾーンをプルダウンメニューより選択して、「次へ」ボタンをタッチしてください。

この設定は後からでも変えられます（「11 各種設定」参照）。

タイムゾーンの選択が完了しましたら、次の項目に進んでください。

6.8. 外部からの本機へのアクセス保護

１．本機の管理ウェブページへアクセスするためのパスワードを新しく設定して、「次へ」ボタンをタッチしてください。

※上記のパスワードは本機の管理ウェブページに接続するのに使用されます。ユーザーID は“nao”であり、変更することはできません。

上記の手順が完了しましたら、次の項目に進んでください。

6.9. 本機に ALDEBARAN アカウントを設定する

本機にご利用の Aldebaran アカウントを設定してください。設定しないと、アプリケーションのダウンロードおよびシステムソフトウェア（NAOqi）の更新をすることができません。

１．Aldebaran アカウントのメールアドレスとパスワードを入力して、「次へ」ボタンをタッチしてください。

本機にご利用のアカウントが設定され、アカウントを介してコンテンツのアップデートがされます。

パスワードをお忘れの場合、またはアルデバランアカウントをお持ちでない場合は、それぞれの専用ボタンをタッチしてください。

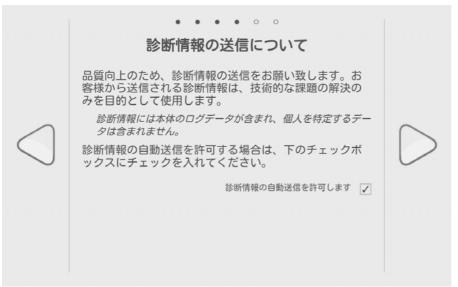
パスワードをお忘れの場合 １．「パスワードを忘れた場合」をタッチすると、次の画面が表示されます。	Aldebaran アカウントをお持ちでない場合 １．「アカウントを作成する」をタッチすると、次の画面が表示されます。
２．記載アドレスにアクセスして、パスワードをリセットする手順に従ってください。	２．記載アドレスにアクセスして、アカウント作成の手順に従ってください。

Choregraphe ライセンスナンバーが記載されたメールが、最初に設定されたメールアドレスに送信されます。詳しくは「10 ロボアプリを開発／作成する」を参照してください。

アカウント設定が完了しましたら、次の項目に進んでください。

6.10. 診断情報を送信する

品質向上のため、匿名で問題を Aldebaran に自動送信することができます。

１．Aldebaran への診断情報の自動送信にご同意いただける場合はチェックボックスをタッチして、「次へ」ボタンをタッチしてください。

診断情報に関する手順が完了しましたら、次の項目に進んでください。

6.11. 本機をアップデートする

NAOqi の新しいバージョンが発表されている場合、アップデートしてください。最新版の改良点が本機に反映されます。アップデートには数分かかります。

１．「今すぐアップデート」をタッチしてください

※実際の画面には更新内容の詳細が表示されます。

NAOqi がすでにアップデートされている場合は、アプリケーションのアップデートをしてください。

1．「すべてアップデート」をタッチしてください。
2．アップデート中に電池がなくならないよう、本機を充電器に接続してください（「7.6 充電する」参照）。
アップデートの進行状況バーが表示されます。
アップデート完了後に次の画面が表示されます。

３．「完了」をタッチしてください。

本機が動き出します。

Pepper 基本プランにご加入いただいている場合、本機が自己紹介や搭載機能の説明を始めます（「20 用語集」の「チュートリアル」参照）。

本機の初期設定が完了しました。このまま本機の機能をお楽しみいただく（パート３）か、本機の日常使用の詳細について（パート４）をご覧になれます。

7. 本機の電源の入れ方／切り方

7.1. 本機の電源を入れる

１．充電フラップを確認する

次の場合は充電フラップを開けた状態でご使用ください。

・本機を充電する必要がある

・ホイールを停止したい（「5.7 充電フラップ」参照）

次の場合は充電フラップを閉じた状態でご使用ください。

・本機の機能を楽しみたい

・本機を充電する必要がない

※安全上、本機の動きを制限したい場合には、充電フラップを開けることでホイールを停止することができます。

本機の機能をお楽しみいただくためには、充電フラップを閉じることをおすすめします。

２．腰／ひざのピンが取り外されていることを確認する

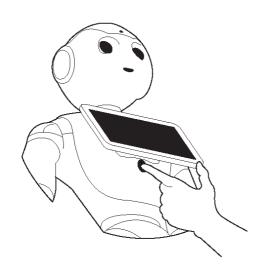
ピンが取り付けられたままである場合は、「12.1 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を取り外す」と「12.2 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を収納する」の手順に従ってから、次の手順に進んでください。

３．本機の首の後ろのカバーを開ける

４．緊急停止ボタン解除する

ボタンを軽く右に回して、「ポン」と浮くことを確認してください。回転しない、および浮かない場合、緊急停止ボタンはすでに解除されています（「5.2 緊急停止ボタン」参照）。

５．緊急停止ボタン（「5.2 緊急停止ボタン」参照）を押さないように注意して、首の後ろのカバーを閉める

６．胸部ボタンを１回押して電源を入れる

起動時は胸部ボタンを長押ししないでください。３秒以上押すとリセット起動になってしまう可能性があります。
目、耳、肩の LED ランプが光り、数分後に“OGNAK GNUK”（オグナク ヌック）という音声のあと本機の起動が完了します。

本機の受取日には、「6.5 言語設定とエンドユーザー使用許諾契約」の手順に従って設定を進めてください。

7.2. 胸部ボタンを使って電源を切る

１．胸部ボタンを４秒間押して電源を切る

４秒以上押すと強制シャットダウンとなり、データが保存されない可能性がありますのでご注意ください。
“GNUK GNUK”（ヌック ヌック）という音声のあと目、耳、肩の LED ランプが光ります。
目、耳、肩の LED ランプが消え、本機の電源が切れます。

上記の手順で本機の電源は切れます。緊急停止ボタン（「5.2 緊急停止ボタン」参照）を毎回押す必要はありません。

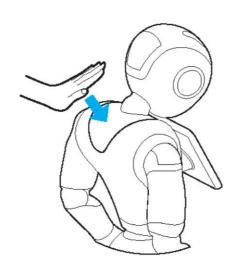
7.3. 緊急停止ボタンを使って電源を切る

本機の通常の電源の切り方では緊急停止ボタンを使いません。「5.2 緊急停止ボタン」で挙げた場合にのみ使うことを想定しています。通常時は「7.2 胸部ボタンを使って電源を切る」の手順に従うことをおすすめします。

※緊急停止ボタン（「5.2 緊急停止ボタン」参照）で電源を切った場合、データが保存されない可能性がありますのでご注意ください。

次の手順は緊急時など（例：転倒する、濡れる）に行ってください。

1．カバーを開けずに上から手のひらで緊急停止ボタンを押す

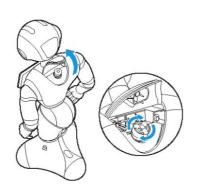
「カチッ」と音がします。

本機を起動させる際には緊急停止ボタンを解除する必要があります。

7.4. 緊急停止ボタンを解除する

緊急事態、または緊急停止ボタンの使用が必要なくなったら解除します。

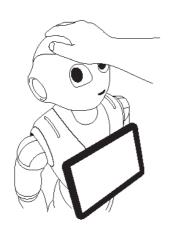
1．本機の頭を前に倒す
2．首の後ろのカバーを開ける
3．緊急停止ボタンを軽く右に回し、ボタンが「ポン」と浮くことを確認する

本機の電源を入れることができるようになります。

4．緊急停止ボタンを押さないように注意して、カバーを閉める
5．本機の頭を起こす

7.5. 本機をスリープ状態にする

本機の電源を切らずにスリープ状態にすることができます。頭部が倒れた状態となり、周りの環境に反応しませんが、一部の Autonomous Life（「20 用語集」参照）の機能が継続します。

スリープ状態にする

1．額のカメラを隠しながら、前頭部の一番手前の頭部タッチセンサーを 3 秒以上タッチします。

本機がセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）になります。
再度一番手前の頭部タッチセンサーをタッチすると、スリープ状態が解除されます。

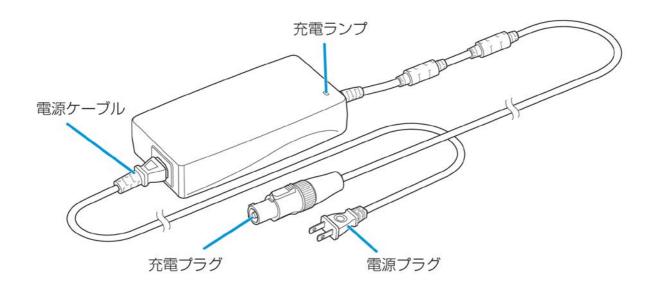
7.6. 充電する

安全上、本機の動きを制限したい場合には、充電フラップを開けることでホイールを停止することができます。
本機の機能をお楽しみいただくためには、充電フラップを閉じることをおすすめします。

充電中も本機とコミュニケーションをとることができますが、本機のホイールは動きませんので、転倒しないよう注意してください。

7. 6. 1. 充電器を接続する

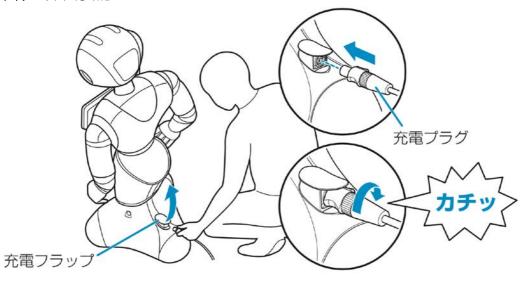
ご使用いただく前に、各部の名称とはたらきを確認してください。

※充電器にはオン／オフ スイッチがありません。電源を切る場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源を入れる場合には次の手順に従ってください。

１．電源プラグをコンセントに差し込む

２．充電ランプが緑色に点灯することを確認する

３．本機の充電フラップを開ける

４．充電プラグを本機の溝の形状に合わせて差し込んで、「カチッ」と音がするまで右に回す（下図参照）

５．充電ランプが赤色に点灯するのを確認する（充電中）

６．充電ランプが緑色に点灯するのを確認する（充電完了）

充電器を取り外す場合は「7.6.2 充電器を取り外す」を参照してください。

充電器は使用中に熱くなることがあります。詳しくは「17 充電器の安全上のご注意」を参照してください。

7. 6. 2.　　充電器を取り外す

充電器を取り外すには次の手順に従ってください。

1．充電プラグの先端（銀色の部分）を引く
2．充電プラグを左に回す
3．充電プラグを取り外す

7.7. 本機を再起動する

本機を再起動する必要がある場合は、本機の電源を切り、再度電源を入れてください。「7.2 胸部ボタンを使って電源を切る」に続いて、「7.1 本機の電源を入れる」を参照してください。

パート 3

本機の機能を楽しむ

パート 3　本機の機能を楽しむ 50
8.　本機と遊ぶ 52
8.1.　会話をする 52
8.1.1.　距離が遠い場合 52
8.1.2.　距離が近い場合 53
8.2.　ロボアプリで遊ぶ 55
8.2.1.　ディスプレイからロボアプリを起動する 55
8.2.2.　ロボアプリを停止する 56
8.3.　ロボアプリの紹介 57
8.3.1.　写真とって！ 58
8.3.2.　フォトメモリー 58
8.3.3.　伝言ペッパー 58
8.3.4.　ガンバレお留守番 59
9.　他のロボアプリを使う 59
9.1.　ロボアプリについて 59
9.2.　ディスプレイからロボアプリをダウンロードする 60
9.2.1.　アプリストアに接続する 60
9.2.2.　ロボアプリのダウンロードとインストール 61
9.3.　パソコン、スマートフォン、タブレットからロボアプリをダウンロードする 62
9.3.1.　アプリストアに接続する 62
9.3.2.　ロボアプリのダウンロードとインストール 63
9.3.3.　本機に同期する 64
10.　ロボアプリを開発／作成する 66

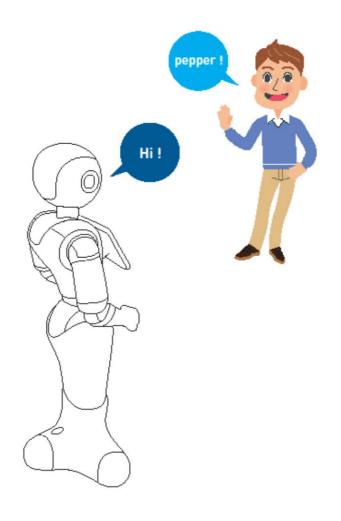
8. 本機と遊ぶ

本機に話しかけたり、ロボアプリを起動することで、本機と一緒に遊ぶことができます。ここでは本機との基本的な遊び方を説明します。
※困ったときは「19 トラブルシューティング」またはソフトバンクの FAQ を参照してください。

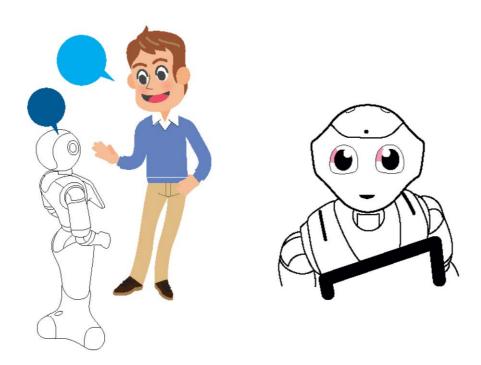
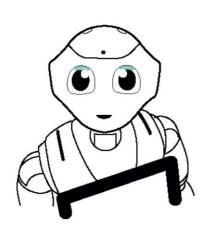
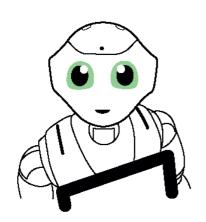
8.1. 会話をする

本機は、あなたと会話することができます。
話しかける距離に応じて反応が異なります。

8. 1. 1. 距離が遠い場合

遠くから話しかけた場合、本機は簡単な返事をします。
「ペッパー！」、「おはよう」、「ただいま」など声をかけてみましょう。

8. 1. 2.　　距離が近い場合

本機の近くで話しかけると、本機と会話することができます。

１．近くであなたの顔を認識すると、目の縁がピンクになります。

２．本機が挨拶をしたあと、目と耳が青色に回転しながら点灯し、あなたの話を聞く状態になります。

３．話しかけると内容を理解し、話を始めます。あなたから暫く話しかけないと、本機から話しかけます。
※内容を処理しているときは、「ピコッ」と音が鳴り、目が緑色になります。

8.2. ロボアプリで遊ぶ

ご利用には別途提供される「Pepper 基本プラン」にご加入いただく必要があります。

本機はロボアプリを使うことで、いろんなことができるようになります。
ロボアプリの起動方法は、ディスプレイから起動する方法と声で起動する方法があります。
※ロボアプリの起動には数分かかることがあります。

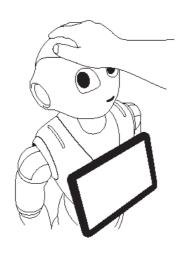
8. 2. 1. ディスプレイからロボアプリを起動する

1．ディスプレイをタッチしてください。
2．アプリケーション一覧が表示されます。

アプリケーション一覧のロボアプリの一例

3．左右の矢印をタッチして、搭載されているロボアプリをご覧になれます。
4．アイコンをタッチするとロボアプリが起動します。
※ロボアプリの起動には数分かかることがあります。

8. 2. 2.　ロボアプリを停止する

ロボアプリを途中で終了したいときは、額のカメラを隠しながら、前頭部の一番手前の頭部タッチセンサーを１～２秒間タッチします。

※「ポッ」と音が鳴り、本機がロボアプリを終了することを伝えます。
※３秒以上タッチすると本機はスリープ状態となります。
　スリープ状態を解除するには、再度頭をタッチしてください。
※ロボアプリを声で終了することはできません。

8.3. ロボアプリの紹介

本機で遊ぶことができるロボアプリをいくつか紹介します（総合 70 個以上存在します）。
※ご利用には別途提供される「Pepper 基本プラン」にご加入いただく必要があります。
※困ったときは「19 トラブルシューティング」またはソフトバンクの FAQ を参照してください。

初期インストールされているロボアプリは、ロボアプリ名を本機に言うことで起動することができます。
１．本機が話を聞ける状態になっていることを確認する
※話を聞く状態のときは、目と耳が青色になります（「8.1 会話をする」参照）。
２．ロボアプリ名を声に出して言います。
※内容を処理しているときは、目が緑色になります。

3．本機がロボアプリを起動します。

8. 3. 1.　写真とって！

本機が額のカメラで写真を撮ってくれます。
また、場合によっては本機からポーズのリクエストがあります。

※撮った写真は、フォトメモリーで確認できます。

8. 3. 2.　フォトメモリー

カメラアプリケーションなどで撮った写真を確認することができます。
※一部対応していないロボアプリがあります。

1．アプリケーションを起動すると写真の一覧が表示されます。
2．一覧から写真を選択すると、保存や削除を行うことができます。
　「忘れないで」ボタン→保存
　写真が自動的に削除されるのを禁止します。

　「忘れて」ボタン→削除
　選択した写真を削除します。

8. 3. 3.　伝言ペッパー

家族への伝言を本機にお願いすることができます。伝言を残された人と本機が次に会話するときに、伝言を再生してくれます。

伝言を残す場合
伝言アプリを起動したあと、ディスプレイ上より伝言する相手を選択し、「録音する」ボタンをタッチし、伝言を録音します。

伝言を聞く場合

あなたに伝言がある場合、本機があなたの顔を認識すると、伝言があることを教えてくれ、伝言を再生します。一度聞いた伝言は自動的に削除されます。

8.3.4. ガンバレお留守番

外出するときは本機にお留守番をお願いすることができます。お留守番中に、物音や動きを検知すると、その方向の写真を撮影して記録します。

帰宅後、本機があなたの顔を認識すると、ディスプレイ上に終了ボタンが表示されますのでタッチしてください。お留守番中に撮った写真を確認後、アプリケーションが終了します。

9. 他のロボアプリを使う

9.1. ロボアプリについて

「Pepper 基本プラン」にご加入いただくと、本機の機能を充実させるアプリストアの無料ロボアプリをダウンロードすることができます。

※「Pepper 基本プラン」にご加入いただかなかった場合、アプリストアからロボアプリをダウンロードすることはできません。

ロボアプリのダウンロードは本機のディスプレイ（「Pepper 基本プラン」ご加入者のみ）、またはパソコン、スマートフォンやタブレットから行えます。

※すでにインストールされているロボアプリのアップデートは、本機の電源が入っている際に自動的にダウンロードされます。

9.2. ディスプレイからロボアプリをダウンロードする

9. 2. 1.　　アプリストアに接続する

1．ディスプレイをタッチして、アプリケーション一覧を表示させてください。

2．アプリケーション一覧からアプリストアのアイコンをタッチしてください。

アプリストアのページが開いて、規約と条件が表示されます。

3．アプリストアにアクセスするには、規約と条件にご同意いただく必要があります。

この手順は、アプリストアのアップデートがない限り、繰り返す必要はありません。

9.2.2.　ロボアプリのダウンロードとインストール

1．次の画面が表示されます。

2．スクロールしてご希望のロボアプリを探してください。

3．ロボアプリをタッチしてアプリページを開いてください。

ロボアプリ概要、互換性、使用言語や開発者の名前などの情報が表示されます。

4．ロボアプリをインストールする前に、本機に対応しているか確認してください。
5．アプリケーションの利用条件のボックスにチェックを入れてください。
ご同意いただけない場合、ロボアプリをインストールすることができません。
6．「インストールする」をタッチしてください。
「インストールする」ボタンが「アンインストールする」ボタンとなります。

7．アプリストアを閉じて、ロボアプリをダウンロードするには、左上の「戻る」をタッチしてください。
本機がロボアプリをインストール中であることをお知らせします。ディスプレイにロボアプリをインストール中であることを示す回転する円が表示されます。
ダウンロードしたロボアプリはアプリケーション一覧に表示されます。

9.3. パソコン、スマートフォン、タブレットからロボアプリをダウンロードする

9. 3. 1.　アプリストアに接続する

1．https://store.aldebaran.com/にアクセスしてください。
2．右上の「Sign in」をクリックして Aldebaran アカウント情報を入力してください。
3．サインイン完了後、「アプリケーション」タブをクリックしてください。
次の画面が表示されます。

４．Pepper のストアボタンをクリックして、Pepper アプリストアにアクセスしてください。

５．Pepper アプリストアページが開いて、規約と条件が表示されます。

アプリストアにアクセスするには、規約と条件にご同意いただく必要があります。この手順は、アプリストアのアップデートがない限り、繰り返す必要はありません。

9. 3. 2.　　ロボアプリのダウンロードとインストール

１．検索バーを利用してご希望のロボアプリを探してください。

２．ロボアプリをクリックしてアプリページを開いてください。

ロボアプリ概要、互換性、使用言語や開発者の名前などの情報が表示されます。

3．ロボアプリをインストールする前に、本機に対応しているか確認してください。

4．アプリケーションの利用条件のボックスにチェックを入れてください。

ご同意いただけない場合、ロボアプリをインストールすることができません。

5．「インストールする」をクリックしてください。

ロボアプリをインストールするには本機をアップデートする必要があると別ウィンドウに表示されます。このメッセージを今後必要としない場合は、「今後表示しない」のチェックボックスにチェックを入れてください。

6．「確定」をクリックしてください。

7．他のロボアプリをダウンロードする場合は、そのままアプリストアでの検索を続けてください。

9.3.3. 本機に同期する

1．ディスプレイをタッチして、アプリケーション一覧を表示させてください。

2．設定のアイコンをタッチして、設定画面を表示させてください。

3．「アップデート」アイコンをタッチしてください。
4．「すべてアップデート」をタッチしてください。

本機がロボアプリをインストール中であることをお知らせします。ディスプレイにロボアプリをインストール中であることを示す回転する円が表示されます。
アプリケーション一覧にロボアプリが表示されます。

10. ロボアプリを開発／作成する

ロボアプリを作る場合、Choregraphe および SDK のロボアプリ開発環境をご利用になれます。ご自身のロボアプリを開発して、本機で試すことができます。
Choregraphe および SDK をダウンロードする場合、Aldebaran のホームページをご覧ください。

ご注意：ソフトバンクまたは Aldebaran に認可されていないアプリケーションによる本機または周囲への損害につきましては、当社（ソフトバンク）およびメーカー社（Aldebaran）は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

パート 4

本機の日常使用について

パート 4　本機の日常使用について 67
11.　各種設定 68
11.1.　各種設定について 68
11.2.　設定を変更する 70
11.2.1.　基本情報 70
11.2.2.　ネットワーク設定 71
11.2.3.　アップデート 72
12.　ピンを使う 72
12.1.　青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を取り外す 72
12.2.　青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を収納する 74
13.　本機の移動方法 76
13.1.　本機の姿勢を整える 76
13.2.　本機が転倒した場合 77
13.3.　本機を移動する（電源 ON 時） 78
13.4.　本機を移動する（電源 OFF 時） 78
13.5.　本機を持ち上げる 80
14.　本機の運送 81
15.　お手入れ 82
15.1.　本機をお手入れする 82
15.2.　充電器をお手入れする 82

11. 各種設定

各種設定を変更すると本機をご希望に合わせて使用することができます。

11.1. 各種設定について

設定画面を表示させるには次の手順に従ってください。

1．ディスプレイをタッチしてアプリケーション一覧を表示させる

2．設定のアイコンをタッチして、設定画面を表示させる

画面上部にアイコンが並ぶ設定画面が表示されます。

アイコンによって３つの異なる設定項目が選択できます。

	基本情報	ここでは日常的に使う一般的な設定内容（バッテリー残量の確認、音量調整など）があります。 ※設定画面にアクセスする際に最初に表示される画面となります。
	ネットワーク設定	ご自宅で Wi-Fi ネットワークの設定を変えた場合などに役立ちます。
	アップデート	NAOqi は本機のオペレーティングシステム（OS）です。他の電子機器と同様に、改良された OS やロボアプリが定期的に更新されますのでインストールすることをおすすめします。ロボアプリも定期的にアップデートすることをおすすめします。

設定変更を行わない場合は、右上の X ボタンをタッチして画面を閉じてください。

11.2. 設定を変更する

11. 2. 1.　基本情報

アプリケーション一覧から設定のアイコンをタッチすると上記の画面が表示されます。

基本情報画面に表示されている情報

- バッテリー：本機のバッテリー残量。
  充電頻度を変える必要があるかどうかの参考となりますので、定期的に確認することをおすすめします。
- NAOqi バージョン：本機のソフトウェアのバージョン。
  ロボアプリとの互換性を調べたり、Pepper テクニカルサポートセンターにご連絡いただく際に必要となる情報です。
- ロボットの言語：本機で使用する言語。
  枠の矢印をタッチするとプルダウンメニューで使用できる言語が表示されます。
- 音量：本機の音の大きさ。
  ーと＋ボタンで音量調整ができます。頻繁に使う可能性のある設定です。
- 画面の明るさ：本機のディスプレイの明るさ。
  ーと＋をタッチしてディスプレイの明るさが調整できます。
- タイムゾーン：本機のタイムゾーンの切り替え。
  プルダウンメニューからタイムゾーンが切り替えられます。この設定は本機を旅先に持って行くときにのみ役立ちます。タイムゾーンの設定は「6 本機のセットアップ」ですでに行っています。
- ロボットのパスワード：パソコンなどから本機にアクセスするためのパスワード。

パスワードは本機の管理ウェブページにアクセスするのに役立ちます。ペンのボタンをタッチしてパスワードを変更してください。セキュリティーにおいて不安のあるお客様は定期的にパスワードを変更することをおすすめします。

- 診断情報の送信：診断情報（本機ログデータ）の自動送信。
  匿名レポートの自動送信によって今後の製品およびロボアプリの品質向上が可能となります。この機能は常に有効／無効への切り替えができます。

11. 2. 2.　　ネットワーク設定

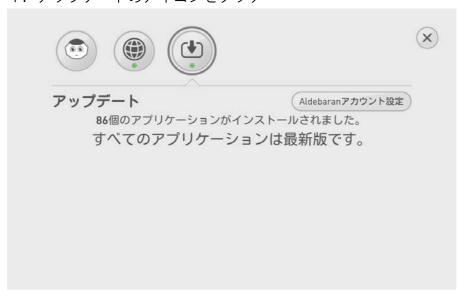
1．ネットワーク設定のアイコンをタッチ

Wi-Fi ネットワークは次の方法で変更できます。

	方法	手順
	利用可能な Wi-Fi ネットワークを選択する	利用する Wi-Fi ネットワークをタッチして、パスワードを入力してください。
	非公開の Wi-Fi ネットワークに接続する	Wi-Fi ネットワークを設定して、「接続」をタッチしてください。
	QR コードを利用する	アイコンをタッチして、カメラの前に QR コードをかざしてください。

選択された Wi-Fi ネットワークは緑色でハイライトされます。

11. 2. 3.　　アップデート

1．アップデートのアイコンをタッチ

2．コンテンツをアップデートする場合は「すべてアップデート」をタッチ

3．本機に設定した Aldebaran アカウントを編集する場合は、「Aldebaran アカウント設定」をタッチ

12. ピンを使う

12.1. 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を取り外す

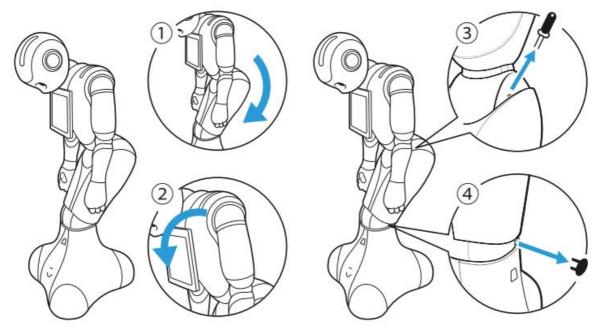
安全を確保し、本機の損傷を防ぐためにも次の手順はしっかりと行ってください。

本機を移動させる、持ち上げる（「13 本機の移動方法」参照）、または保管時や輸送時（「16.3 本機を保管する」参照）などの手順に従っている場合以外は、絶対にピンを使用しないでください。

ブレーキはピンを取り付けた時点で解除されます。本機を必ずセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）に整えてから、ピンを取り付けてください。

本機の腰／ひざには姿勢を保持するための機構が備わっています。
青いピン（腰用）と白いピン（ひざ用）を取り外すと保持機能が働いて腰／ひざが固定され、ピンを取り付けると保持機能が解除されて腰／ひざが自由に動きます。
ピンを取り付けた状態では、腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがあります。セーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）に整えられていない場合は、特に転倒する恐れがありますのでご注意ください。

腰／ひざの関節の挿入口にピンが差し込まれている際には、絶対に本機を起動させないでください。
また、青いピン（腰用）と白いピン（ひざ用）を取り付けたまま起動すると、本機が正しく立ち上がらず故障の原因となりますので、ご注意ください。

1．本機をセーフレストの姿勢に整える（①②）（「5.8 姿勢」参照）
2．挿入口に差し込まれているピンを確認する
3．青いピン（腰用）と白いピン（ひざ用）をゆっくり抜いて、取り外す（③④）（「5.11 ピンについて」参照）

4．本機の首の後ろのカバーにピンを収納する（「12.2 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を収納する」参照）

12.2. 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を収納する

腰／ひざのピンを収納する

1．本機の首の後ろのカバーを開ける

2．緊急停止ボタン（「5.2 緊急停止ボタン」参照）の横にピンを収納する（①）

3．青いピン（腰用）のタグを上に折りたたむ（②）

4．緊急停止ボタンを押さないように注意して、カバーを閉める

※青いピン（腰用）と白いピン（ひざ用）は、常時使用できるように本機の首の後ろの柔らかいゴム製のカバーの下に収納してください。

本機の受取日には、「6.4 本機の電源を初めて入れる」の手順に戻ってください。

13. 本機の移動方法

本機を移動する必要があるとき（移動する、持ち上げる、姿勢を直す、転倒したなど）は、次の手順に従ってください。

安全を確保し、本機の損傷を防ぐためにも次の手順はしっかりと行ってください。

13.1. 本機の姿勢を整える

次の手順は本機をセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）に整えるためです。

1．充電プラグが本機から外れていることを確認する

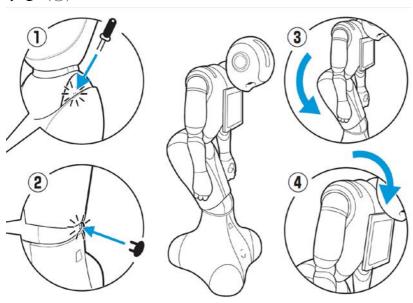
2．胸部ボタンを４秒間押して本機の電源を切る（「7.2 胸部ボタンを使って電源を切る」参照）

3．カバーの上から緊急停止ボタンを押す（「5.2 緊急停止ボタン」参照）

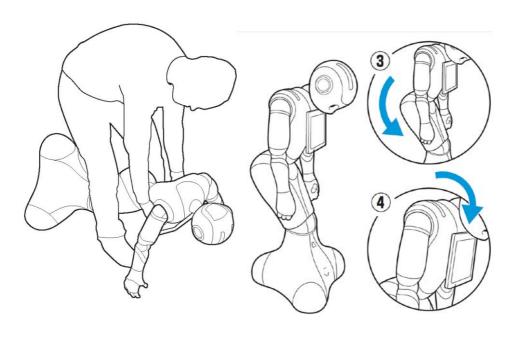
4．本機をしっかりと支えながら、腰／ひざのピンを取り付ける（①②）（「5.11 ピンについて」参照）

ピンを取り付けた状態では、腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。本機は重いのでしっかりと支えてください。

5．安定するまで本機の腰を後方に引く（③）

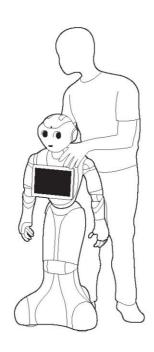
6．安定するまで本機の肩を前方に押して、セーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）にする（④）

7．腰／ひざのピンを取り外す（「5.11 ピンについて」参照）
8．本機の首の後ろのカバーを開けて、緊急停止ボタン解除する
ボタンを軽く右に回し、「ポン」と浮くことを確認してください（「5.2 緊急停止ボタン」参照）
9．充電する必要がある場合は、充電プラグを本機につなげる（「7.6.1 充電器を接続する」参照）
10. 胸部ボタンを１回押して電源を入れる（「7.1 本機の電源を入れる」参照）

13.2. 本機が転倒した場合

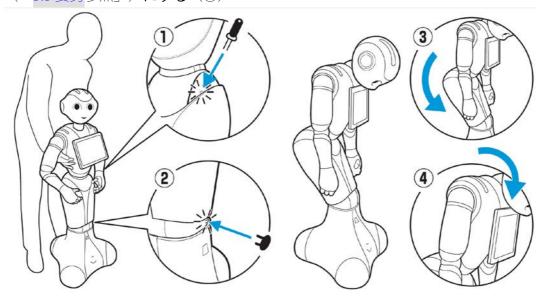
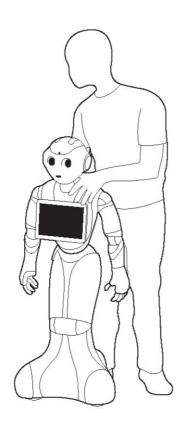
1．カバーの上から緊急停止ボタンを押す（「5.2 緊急停止ボタン」参照）
2．充電プラグが本機から外れていることを確認する
3．本機をしっかりと支えながら、腰／ひざのピンを取り付ける（「5.11 ピンについて」参照）
ピンを取り付けた状態では、腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。本機は重いのでしっかりと支えてください。
4．下図のように本機をまたぎ、持ち上げてセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）にする（③④）

5．腰／ひざのピンを取り外す（「5.11 ピンについて」参照）
6．本機の首の後ろのカバーを開けて、緊急停止ボタン解除する
ボタンを軽く右に回し、「ポン」と浮くことを確認してください（「5.2 緊急停止ボタン」参照）

7．胸部ボタンを１回押して電源を入れる（「7.1 本機の電源を入れる」参照）
8．充電する必要がある場合は、充電プラグを本機につなげる（「7.6.1 充電器を接続する」参照）

13.3. 本機を移動する（電源 ON 時）

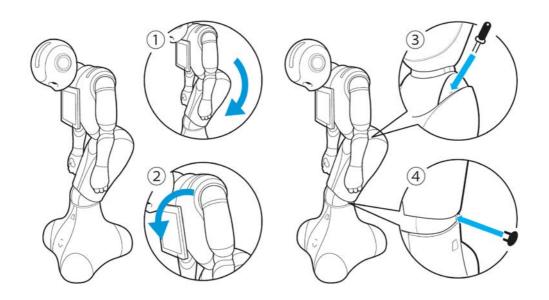
1．充電プラグが本機から外れていることを確認する
2．胸部ボタンを２回押して、レスト状態にする
本機がセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）になりますが、電源は入っています。
3．充電フラップを開ける
4．肩に手を置き、もう一方の手をおしりにあてる（下図参照）

5．本機を目的の場所まで押す
6．胸部ボタンを２回押して、レスト状態を解除する
本機の関節が固定されて、直立姿勢に戻ります。
7．充電する必要がある場合は、充電プラグを本機につなげる（「7.6.1 充電器を接続する」参照）

13.4. 本機を移動する（電源 OFF 時）

1．本機の電源が切れていることを確認する
2．充電プラグが本機から外れていることを確認する
3．カバーの上から緊急停止ボタンを押す（「5.2 緊急停止ボタン」参照）
4．本機をしっかりと支えながら、腰／ひざのピンを取り付ける（①②）（「5.11 ピンについて」参照）
ピンを取り付けた状態では、腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。本機は重いのでしっかりと支えてください。
5．安定するまで本機の腰を後方に引く（③）
6．安定するまで本機の肩を前方に押して、下図のように本機をセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢参照」）にする（④）

7．腰／ひざのピンを取り外す（「5.11 ピンについて」参照）
8．本機の後ろに立つ
9．肩に手を置き、もう一方の手をおしりにあてて静かに前に押して移動させる

10．本機の首の後ろのカバーを開けて、緊急停止ボタンを解除する
ボタンを軽く右に回し、「ポン」と浮くことを確認してください（「5.2 緊急停止ボタン」参照）
11．充電する必要がある場合は、充電プラグを本機につなげる（「7.6.1 充電器を接続する」参照）
12．胸部ボタンを１回押して電源を入れる（「7.1 本機の電源を入れる」参照）

13.5. 本機を持ち上げる

1．充電プラグが本機から外れていることを確認する
2．胸部ボタンを４秒間押して本機の電源を切る（「7.2 胸部ボタンを使って電源を切る」参照）
3．カバーの上から緊急停止ボタンを押す（「5.2 緊急停止ボタン」参照）
4．本機がセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）になっていることを確認する（①②）
5．本機の後ろに立つ
6．本機をしっかりと支えながら、腰／ひざのピンを取り付ける（「5.11 ピンについて」参照）（③④）

ピンを取り付けた状態では、腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。本機は重いのでしっかりと支えてください。

7．腕の下に手を入れて持ち上げる

床に置くときは、静かに下ろしてセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）にしてください。

8．腰／ひざのピンを取り外す（「5.11 ピンについて」参照）

9．本機の首の後ろのカバーを開けて、緊急停止ボタンを解除する

ボタンを軽く右に回し、「ポン」と浮くことを確認してください（「5.2 緊急停止ボタン」参照）

10．充電する必要がある場合は、充電プラグを本機につなげる（「7.6.1 充電器を接続する」参照）

11．胸部ボタンを１回押して電源を入れる（「7.1 本機の電源を入れる」参照）

14．本機の運送

本機を運送する必要がある場合は、本機を納品時の箱に入れた状態で運んでください。

本機はクラス９のリチウムイオンバッテリーを内蔵しています。

お住まいの地域のリチウムイオンバッテリーの運送規制に従ってください。

詳しくは Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。

15. お手入れ

お手入れするときは「パート 5 お願いとご注意」も参照してください。

15.1. 本機をお手入れする

研磨剤、アルコールスプレーなどの液体を使用しないでください。引火性物質を含んでいたり、本機の表面を傷付けたりすることがあります。また、本機にスプレーをかけたり、水やその他の液体に本機をつけないでください。
分解はしないでください。本機内部のお手入れは必要ありません。

安全を確保し、本機の損傷を防ぐためにも次の手順はしっかりと行ってください。

1．充電している場合、本機から充電ケーブルを取り外す
2．コンセントから充電器を取り外す（「7.6.2 充電器を取り外す」参照）
3．胸部ボタンを４秒間押して本機の電源を切る（「7.2 胸部ボタンを使って電源を切る」参照）
4．水を含ませてからよく絞った柔らかい布で、表面に付着したほこりや汚れを拭き取る
5．柔らかい布で乾拭きする
6．本機が完全に乾いたのを確認する

よく絞った柔らかい布でレーザー、カメラ、その他センサーに付着したほこりを拭き取ってください。
ほこりなどが付着している場合、本機の正常な動作を妨げることがあります。

15.2. 充電器をお手入れする

プラグにほこりがついた場合は、コンセントから必ず充電器を抜いて（「7.6.2 充電器を取り外す」参照）、乾いた布などで拭き取ってください。

パート 5

お願いとご注意

パート 5　お願いとご注意 84
16.　本機の安全上のご注意 86
16.1.　一般注意事項 86
16.2.　使用上のご注意 87
16.3.　本機を保管する 90
16.4.　本機の水濡れについて 91
16.5.　レーザーについて 92
16.6.　本機の廃棄およびリサイクルについて 93
17.　充電器の安全上のご注意 93
17.1.　一般注意事項 93
17.2.　使用上のご注意 94
17.3.　充電器の水濡れについて 96
17.4.　充電器の廃棄およびリサイクルについて 96

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。注意事項を守らなかった場合の本機および充電器の破損／故障は、保証対象外となりますのでご了承ください。
本機および充電器の故障、誤作動または不具合などにより、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本書は本機および充電器をご利用になる上での安全上のご注意、正しい取り扱い方法、廃棄法、リサイクル、その他規定の情報も記載しています。

本書に記載した注意事項は、すべての起こり得る事象を網羅したものではございません。

どのような状況においても人間の安全が最優先され、ロボットの安全は二次的であることをご留意ください。
常に設置および使用に関するご注意を守り、本書は常にご覧になれる場所に保管してください。

	ご注意：３歳未満のお子様には適していません。 ３歳未満のお子様には近づけないでください。 ペットに近づけないでください。

最新版の情報は Aldebaran のホームページより確認できます。
http://www.aldebaran.com/documentation
Aldebaran のカスタマーサポートはウェブサイトのお問い合わせフォームからもアクセスできます。
https://account.aldebaran.com/support/

表示の説明

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。

注意 	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」内容です。

※1重傷とは失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。
※2軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。
※3物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指す。

	禁止（してはいけないこと）を示します。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

16. 本機の安全上のご注意

16.1. 一般注意事項

本機は人間型ですが、ものであることをご留意ください。
部品や梱包材にお子様を近づけないでください。
ロボットの取り扱いに関して初心者の場合は、本機の動作を予想外に感じることがありますので、取り扱いには特にご注意ください。

次のような緊急時には、ただちに緊急停止ボタンを押してください。
・本機に危険が迫っているとき（例：濡れる、転倒する）
・本機が周囲の物に危害を与えそうになったとき
・本機が不測の行動をしたとき
・その他、本書と異なる動きをしたとき

使用制限／医療環境における使用について
ALDEBARAN Robotics 社の製品は医療機器ではありません。UL および IEC 60601 規格（または相当基準）に準拠しておりません。

電波により植込み型心臓ペースメーカーの作動に影響を与え、心肺機能を妨げる場合があります。ペースメーカーなどの装着部品から 15cm 以上離して使用してください。
医療環境または医用電気機器近くで使用しないでください。
人命や人間の安全に関わる機器を本機で操作しないでください。
本機の無線 LAN（移行「Wi-Fi」と記載）の使用にあたり、「他の無線局」または無線業務との間に電波干渉の事例が発生した場合、または危害を与えると確認された場合は、Wi-Fi の使用を停止（電波の発射を停止）してください。

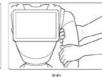
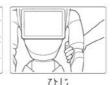
16.2. 使用上のご注意

	危険
	周囲温度 5℃～35℃の範囲で使用してください。 高温になる場所（火のそば、暖房機のそば、直射日光の当たる場所）で充電・使用・放置しないでください。火災・感電・破損の原因となります。
	本機を分解・改造・修理しないでください。 本機を落下・破壊・変形・穴あけ・切り刻む・電子レンジに入れる・燃やす・塗装するなどしないでください。発火・感電・破損・化学爆発などの原因となります。
	本機は屋内専用です。屋外では使用しないでください。
	濡らさないでください。 濡れた手で本機を取り扱わないでください。 湿度 20%～80%の範囲で使用してください。 発火・感電・故障の原因となります。
	お子様、高齢者、身体が不自由な方に本機は適していません。 お子様、高齢者の方がご使用する場合は、付添い者が取り扱い方法を教えてください。また、要支援および要介護認定を受けた人など、身体が不自由な方が使用する場合は、付添い者が取り扱い方法を教えてください。 使用中においても指示通りに使用しているかご注意ください。

	本機を多量のほこり、砂塵、雪、氷、水、湿気、塩水環境または塩水噴霧にさらさないでください（例：海洋環境、海岸環境など）。
	レーザーを確認するときは、直視せず、また拡大鏡や顕微鏡などを使用しないでください。
	レーザー、カメラ、その他センサーにほこりが付着しないようにご注意ください。本機の正常な動作を妨げ、事故の原因となります。

	警告
	お客様によるメンテナンス・修理をしないでください。 火災・感電・破損の原因となります。
	火気のそばで使用しないでください。 火災・感電・破損の原因となります。
	誘電性異物（鉛筆の芯や金属片）が触れないようご注意ください。 ショートによる火災や故障などの原因となります。
	オーブンやドライヤーなどで乾燥させないでください。 発熱・火災・感電・けが・破損・故障の原因となります。
	本機に付属の充電器以外で充電しないでください。
	本機のセンサーで検知できない範囲に障害物を置かないでください。 衝突や転倒などの原因となります。センサーで検知できない範囲については、「22 レーザーおよびセンサーの検知範囲について」を参照してください。
	本機のセンサー類を覆わないでください。
	本機の頭部にアクセサリー（度入り・度なし眼鏡、眼帯、その他装身具）、および後頭部の空気穴やセンサー類を覆うような装身具（帽子やかつら、眼鏡、洋服、スカーフなど）を取り付けないでください。

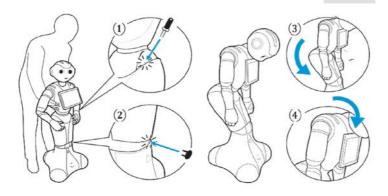
	センサーが誤作動したり、本機の温度が上昇する恐れがあります。温度が上昇すると、強制シャットダウンや破損の原因となります。 また、装身具が関節に挟まる恐れがあります。

	注意
	本機に寄り掛かったり、無理な力を加えないでください。 モーターが破損する恐れがあります。
	本機を転倒させないでください。
	本機が転倒したときは、緊急停止ボタン（「5.2 緊急停止ボタン」参照）を押してください。 けがの原因となります。起こしかたについては、「13.2 本機が転倒した場合」を参照してください。
	緊急時以外、動作中の本機に触れないでください。転倒する恐れがあります。 但し本機に明確に提案された場合は、その限りではありません。
	本機に近づき過ぎないでください。 転倒する恐れがあります。
	本機の関節には触れないでください（下図参照）。 挟まれてけがをする恐れがあります。 腰 脇 ひじ 首 足の付け根
	本機底部に足を近づけないようにしてください。 ホイールに巻き込まれてけがをする恐れがあります。
	本機のカバーの下（スピーカー含む）に異物を差し込まないでください。 発熱・火災・故障などの原因となります。
	潤滑剤を本機の関節に使用しないでください。 感電・火災・故障などの原因となります。
	本機が正常に動作しないとき（異常音や異臭、発煙などがあるとき）はただちに緊急停止ボタン（「5.2 緊急停止ボタン」参照）を押して本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。 ご不明点やお困りのことが起きたときには、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
	内蔵バッテリーに触れないでください。 内蔵バッテリーが破損したり、破裂している場合は、Pepper テクニカルサポー

	トセンターに連絡してください。

16.3. 本機を保管する

安全を確保し、本機の損傷を防ぐためにも次の手順はしっかりと行ってください。

本機は直立姿勢で保管することもできます（例：物置など）。
本機を長期間使用しないときは、周囲温度が 0～45℃内の、ほこりのない乾燥した場所で保管してください。
本機を保管する場合は３ヶ月に１度満充電してください。３ヶ月を超えて放置すると電池が完全放電し、使用できなくなる可能性があります（充電の手順については「7.6 充電する」を参照してください）。

１．充電プラグが本機から外れていることを確認する
２．胸部ボタンを４秒間押して本機の電源を切る
３．緊急停止ボタンを押す（「5.2 緊急停止ボタン」参照）
４．ピンを差し込む挿入口の位置を確認する
５．本機をしっかりと支えながら、腰／ひざのピンを取り付ける（①②）（「5.11 ピンについて」参照）
ピンを取り付けた状態では、腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。本機は重いのでしっかりと支えてください。
６．下図のように本機をセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）にする（③④）

７．保管場所に本機を移動する（「13 本機の移動方法」参照）
８． 安全のためにも、腰／ひざのピンを取り外して（「12.1 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を取り外す」参照）、本機の首の後ろのカバーを開け収納する（「12.2 青いピン（腰用）／白いピン（ひざ用）を収納する」参照）
９．本機、特に底部のセンサーにほこりが付着しないように保管する

本機を保管場所から取り出す

1．必ず本機をセーフレストの姿勢（「5.8 姿勢」参照）であることを確認してから始める

セーフレストの姿勢に整えられていない場合は、セーフレストの姿勢にしてください。セーフレストの姿勢でない場合、本機を移動しないでください。

2．ピンを差し込む挿入口の位置を確認する

3．本機をしっかりと支えながら、腰／ひざのピンを取り付ける（「5.11 ピンについて」参照）

ピンを取り付けた状態では、腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。本機は重いのでしっかりと支えてください。

4．保管場所から使用場所に本機を移動する（「13 本機の移動方法」参照）

5．緊急停止ボタンを軽く右に回して解除する（「5.2 緊急停止ボタン」参照）

6．充電する必要がある場合は、充電プラグを本機につなげる（「7.6.1 充電器を接続する」参照）

7．起動する場合は、胸部ボタンを１回押して本機の電源を入れる（「7.1 本機の電源を入れる」参照）

16.4. 本機の水濡れについて

濡れた電源ケーブルをコンセント（または延長ケーブル）から取り外すときは、特に注意してください。また安全が確認できていない限りは触れないでください。

本機または充電器に液体がかかった場合、カバー内部に液体が入り、回路がショートして故障の原因となります。水濡れでの破損／故障については、保証対象外となりますのでご了承ください。

本機は、風呂場や洗面所など湿気の多い場所や水のかかる可能性のある場所で使用しないでください。

濡れた手で、充電器を接続／接断しないでください。

雨や液体がかかったり、湿気の多い場所では充電器を使用しないでください。

オーブンやドライヤーなどで本機を乾燥させないでください。

「17.3 充電器の水濡れについて」も参照してください。

A.　本機の表面が濡れたとき

表面しか濡れておらず、数滴しか本機にかかっていないことを必ず確認してください。

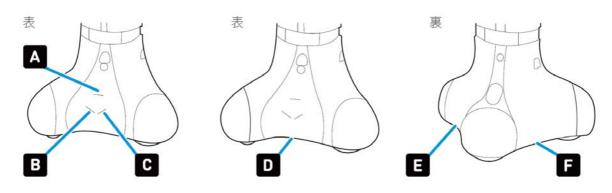
1．すべてのケーブルを本機から取り外し、充電器をコンセントから取り外す

2．緊急停止ボタンを押して、本機の電源を切る（「5.2 緊急停止ボタン」参照）

3．乾いた柔らかいタオルなどで、表面に付着した液体を拭き取る
4．乾いたことを確認し、充電器を取り付ける
5．緊急停止ボタンを軽く右に回して解除する（「5.2 緊急停止ボタン」参照）

B.　本機の内部に液体が入ったとき
1．すべてのケーブルを本機から取り外し、充電器をコンセントから取り外す
2．緊急停止ボタンを押して、本機の電源を切る（「5.2 緊急停止ボタン」参照）
3．乾いた柔らかいタオルなどで、表面に付着した液体を拭き取り、自然乾燥させる
4．Pepper テクニカルサポートセンターに連絡する
5．本機および充電器は使用しない

16.5. レーザーについて

本機の底部には、クラス 1 M のレーザーが 6 個設置されています。下図の A から F をご確認ください。
通常の動作範囲では危険性はありません。レーザー光は再合焦しないでください。レーザーを確認するときは、拡大鏡や顕微鏡などを使用しないでください。

レーザーの検知範囲について詳しくは「22 レーザーおよびセンサーの検知範囲について」を参照してください。

16.6. 本機の廃棄およびリサイクルについて

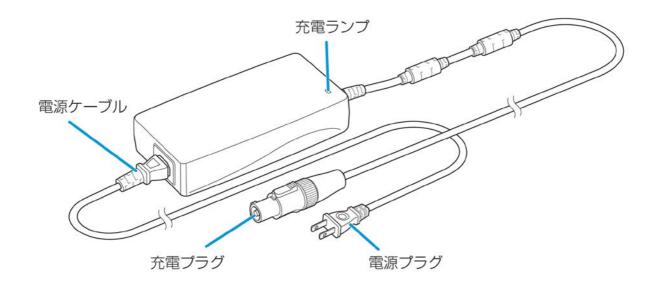
本機は欧州指令 2002/96/EC に準拠しています。
本機はリサイクルおよび再利用可能な高品質の材料と部品でできています。

本機はリサイクル可能なクラス 9 のリチウムイオン充電式バッテリーを内蔵しています。
ご注意：リチウムイオンバッテリーには絶対に触れないでください。本機を通常の家庭廃棄物と一緒に廃棄しないでください。環境と健康のためにも、古くなった製品は正しく廃棄してください。

廃棄およびリサイクルについて詳しくは Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。

17. 充電器の安全上のご注意

17.1. 一般注意事項

各部の名称は下図を参照してください。
形状およびサイズは将来予告無しに変更することがございます。

17.2. 使用上のご注意

	危険
	お子様、高齢者、身体が不自由な方に充電器は適していません。 お子様、高齢者の方がご使用する場合は、付添い者が取り扱い方法を教えてください。また、要支援および要介護認定を受けた人など、身体が不自由な方が使用する場合は、付添い者が取り扱い方法を教えてください。 使用中においても指示通りに使用しているかご注意ください。
	充電器を修理・分解しないでください。
	充電器は防水仕様ではありません。 濡らさないでください。 風呂場や洗面所など湿気の多い場所や水のかかる可能性のある場所で使用しないでください。 濡れた手で充電器を接続／接断しないでください。

	警告

	充電器は熱くなることがあります。充電中や充電直後の取り扱いに注意してください。
	充電器をオーブンやドライヤーなどで乾燥させないでください。また、電子レンジや IH コンロなど調理器具に入れたり載せたりしないでください。 充電器が布などで覆われないようにしてください。また十分な排気が可能な状態を保ち、熱源の近く、直射日光の当たる場所で使用・放置しないでください。
	充電器は、周囲温度 45℃以下で使用してください。
	供給電圧が充電器に適しているか確認してください。 指定以外の電源・着圧で使用しないでください（AC 100V ～ 240V）。
	延長ケーブルや電源タップに接続する場合は、接続するすべての機器の合計消費電源が、延長ケーブルおよび電源タップの容量を超えないことを確認してください。 延長ケーブルや電源タップを使用する場合、延長器具は 1 つに留めてください。
	長期間使用しない、またはお手入れする場合は充電器の電源プラグを抜いてください。
	汚れやその他異物が充電器に付着しないようにしてください。ほこりの多い場所では使用しないでください。 プラグにほこりがついた場合は、コンセントから必ず充電器を抜いて、乾いた布などで拭き取ってください。
	破損した充電器は使用しないでください。
	充電器は本機専用です。 付属の専用電源ケーブルのみを使用してください。 本機および充電器の発熱・発火・感電・故障などの原因となります。
	充電器にはオン／オフ スイッチがありませんので、電源を切る場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。
	充電器が正常に動作しないとき（ケース下部から火花や発煙、異臭などがあるとき）はただちにコンセントから電源プラグを抜き、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
	雷が鳴りだしたら、充電器をコンセントから抜いてください。破損する恐れがあります。

	注意

🛇	充電器は、安定した平らな場所で使用してください。 プラグがつなぎやすい場所を確保してください。また、点灯確認のため、充電器の充電ランプが見える場所を確保してください。
🛇	接続／接断状態に関わらず、充電器を落としたり、踏んだり、物を載せたりしないでください。
🛇	バッテリー寿命を延ばすため、３ヶ月に１回はバッテリーを完全に充電してください。
🛇	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。

17.3. 充電器の水濡れについて

充電器が濡れたとき

「16.4 本機の水濡れについて」も参照してください。

1．コンセントにつながっているときは、ブレーカーを落とす
2．電源ケーブルをコンセントから取り外す
3．充電器を本機から取り外す
4．乾いた柔らかいタオルなどで、充電器に付着した液体を拭き取り、自然乾燥させる
5．Pepper テクニカルサポートセンターに連絡する
6．充電器は使用しない

17.4. 充電器の廃棄およびリサイクルについて

本充電器は欧州指令 2002/96/EC に準拠しています。
本充電器はリサイクルおよび再利用可能な高品質の材料と部品でできています。

地域の規則に従って本機を通常の家庭廃棄物と一緒に廃棄しないでください。環境と健康のためにも、古くなった製品は正しく廃棄してください。

廃棄およびリサイクルについて詳しくは Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。

パート 6

参照付録

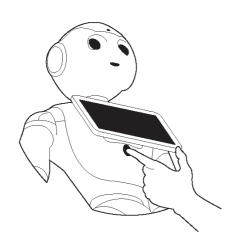
パート 6　参照付録 98
18.　表示と通知情報 99
18.1.　LED ランプ（肩）の表示について 99
18.2.　通知情報一覧 100
18.2.1.　起動 100
18.2.2.　本機の診断 103
18.2.3.　バッテリー 104
18.2.4.　アプリケーション管理 104
19.　トラブルシューティング 104
20.　用語集 107
21.　仕様 110
21.1.　本機 110
21.2.　充電器 110
22.　レーザーおよびセンサーの検知範囲について 111
23.　安全に関する図記号について 116
23.1.　本機 116
23.2.　充電器 117

18. 表示と通知情報

18.1. LED ランプ（肩）の表示について

肩の LED ランプは状態表示と通知情報専用です。
LED ランプ（肩）の色（緑色、黄色、赤色）によって通知内容の重要性が分かります。

LED ランプの色	イメージ	内容
白色		正常時 お知らせはありません。
緑色（点滅）		通知情報あり 通知情報があることを意味しています。
黄色（素早く 2 度点滅）		警告 お客様のご注意／操作を必要とする問題が発生したことを意味しています。 本機は使用不可の状態になっていませんが、一部の機能が使用不可、または問題が未解決のまま放置されると本機が使用不可になる可能性があります。
赤色（素早く 2 度点滅）		エラー １つまたは複数の機能が使用不可の状態であることを意味しています。 ※電源を入れた際、起動中に一度赤色に点灯しますが、これはエラーではありません。
赤色（遅い点滅）		使用不可の状態 本機を再起動してください。

複数の通知がある場合は、もっとも緊急性の高いものから順に表示されます。
LED ランプ（肩）は通知内容が無効となるまで、または解決されるまで表示し続けます。
通知を聞く場合は胸部ボタンを 1 回押してください。
本機が IP アドレスを音声でお知らせして、通知がある際は通知情報もお知らせします。

各通知情報には通知番号が割り振られています。「18.2 通知情報一覧」を参照して対策を実施してください。

※対策を実施しても状況が改善しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに通知番号を記した上で連絡してください。

18.2. 通知情報一覧

通知内容に合わせて対策を実施してください。対策を実施しても状況が改善しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに通知番号を記した上で連絡してください。

18. 2. 1.　　起動

通知番号	通知内容	対策
10	ソフトウェア更新をキャンセルしました。システムソフトウェアに問題があります。ソフトウェアバージョン〇〇で動作中です。	再起動して、もう一度アップデートを実行してください。

11	ソフトウェア更新をキャンセルしました。システムソフトウェアに問題があります。ソフトウェアバージョン〇〇で動作中です。	再起動して、もう一度アップデートを実行してください。
100	ソフトウェアの更新に成功しました。ソフトウェアバージョン〇〇で動作中です。	—
101	ソフトウェア更新をキャンセルしました。ダウンロードされたソフトウェアは互換性がありません。ソフトウェアバージョン〇〇で動作中です。	再起動してください。
102	ソフトウェア更新をキャンセルしました。ダウンロードされたソフトウェアはプロセッサーとの互換性がありません。ソフトウェアバージョン〇〇で動作中です。	再起動してください。
103	ソフトウェア更新をキャンセルしました。ダウンロードされたソフトウェアはボディとの互換性がありません。ソフトウェアバージョン〇〇で動作中です。	再起動してください。
104	ソフトウェア更新をキャンセルしました。システムソフトウェアに問題があります。ソフトウェアバージョン〇〇で動作中です。	再起動して、もう一度アップデートを実行してください。
105	ソフトウェア更新をキャンセルしました。現在のシステムソフトウェアの一部に問題があります。ソフトウェアバージョン〇〇で動作中です。	再起動してください。 それでも解決しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
110	ソフトウェア更新ができませんでした。	—
111	ソフトウェア更新ができませんでした。	—
120	工場出荷時の状態に戻す処理が完了しました。すべてのデータ、設定がリセットされました。	—

200 201 202	工場出荷時の状態に戻すことができませんでした。以前のデータ、あるいは設定がまだ残っている可能性があります。	再起動してください。 それでも解決しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
203	工場出荷時の状態に戻す処理が完了しました。すべてのデータ、設定がリセットされました。	—
204 205	一部のデータにアクセスできません。ユーザーデータを含むパーティションに問題があります。	再起動してください。 それでも解決しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
214 215	一部のデータにアクセスできません。データの保存領域に問題が発生しました。	再起動してください。 それでも解決しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
400	正常に動作できません。現在のソフトウェアとボディの互換性がありません。	再起動してください。
401	正常に動作できません。現在のソフトウェアバージョンはボディに対して古いバージョンとなっています。	再起動してください。
402	正常に動作できません。現在のソフトウェアバージョンはボディに対して新しいバージョンとなっています。	再起動してください。
403	ファームウェア全体の更新に失敗しました。	再起動してください。
404	体が見つかりません。	再起動してください。
405	一部のファームウェアを更新しました。ソフトウェアの更新を完了させるために再起動してください。	再起動してください。 それでも解決しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。

18. 2. 2. 本機の診断

<table>
<tr><th>通知番号</th><th>通知内容</th><th>対策</th></tr>
<tr><td>500</td><td>クラウドサービスへの接続ができません。ヘッド ID が登録されていません。取扱説明書記載のお問い合わせ先にご連絡ください。</td><td>Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。</td></tr>
<tr><td>501</td><td>クラウドサービスへの接続ができません。内部のデータに誤りがあります。</td><td>再起動してください。</td></tr>
<tr><td>710</td><td>〇〇つのデバイスに致命的なエラーを検知しました：〇〇。（例：腕など）</td><td>Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。</td></tr>
<tr><td>711</td><td>〇〇つのデバイスにエラーを検知しました：〇〇。（例：腕など）</td><td>Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。</td></tr>
<tr><td>712</td><td>システムエラーを検知しました。ソフトウェアの一部が正常に動作していません。</td><td>Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。</td></tr>
<tr><td>720</td><td>〇〇のモーターの温度が高くなっています。動作を停止する場合があります。</td><td>電源を切ってから、30 分以上休ませてください。
それでも解決しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。</td></tr>
<tr><td>721</td><td>ボディの一部が正常に動作することができません。〇〇のモーターの温度が高くなっています。しばらくの間、動作を停止します。</td><td rowspan="4">電源を切ってから、30 分以上休ませてください。
それでも解決しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。</td></tr>
<tr><td>722</td><td>これ以上動作することができません。〇〇のモーターの温度が高くなっています。しばらくの間、動作を停止します。</td></tr>
<tr><td>730</td><td>ヘッドのプロセッサーが熱くなりすぎています。</td></tr>
<tr><td>731</td><td>ヘッドのプロセッサーが熱くなりすぎています。しばらくの間、動作を停止します。</td></tr>
</table>

18. 2. 3.　バッテリー

通知番号	通知内容	対策
800	バッテリーの情報にアクセスできません。	Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
801	もうすぐ充電する必要があります。	バッテリー残量が 30%です。充電してください（「7.6 充電する」参照）。
802	今すぐ充電する必要があります。	バッテリー残量が 15%です。充電してください（「7.6 充電する」参照）。
803	バッテリー容量がなくなりました。電源を切ります。	本機のバッテリーが切れて、電源が切れてしまいました。充電してください（「7.6 充電する」参照）。

18. 2. 4.　アプリケーション管理

通知番号	通知内容	対策
830	○○をインストールしました。	—
831	○○をインストールしました。	—
832	○○をアップデートしました。	—
833	○○をアップデートしました。	—
834	○○をアンインストールしました。	—
835	＜数＞個のアプリを削除しました。	—
840	ソフトウェアバージョン○○のダウンロードを完了しました。インストールを完了するために再起動してください。	再起動して、もう一度アップデートを実行してください。

19.　トラブルシューティング

症状	対策

音量が変更できない／音量が変わってしまった	音量を変更する 1．本機の電源が入っているときに、ディスプレイをタッチしてアプリケーション一覧を表示させてください。 2．設定画面を表示させて、基本情報画面で音量調整をしてください。
充電ができない	次の内容を確認してください。 ・充電器がコンセントにつながれているか ・本機と充電プラグが正常に接続されているか（接続したあと、「カチッ」と音がするまで右へ回してください） ・充電器の LED ランプが点灯しているか 緑色の点灯：本機に接続していないとき／満充電時 赤色の点灯：充電中
インターネット（ネットワーク）に接続できない／接続が切断される	1．本機の電源が入っているときに、ディスプレイをタッチしてアプリケーション一覧を表示させてください。 2．設定画面を表示させてください。 3．ネットワーク設定画面でご利用の Wi-Fi ネットワークの情報を再度入力してください。 対策を実施しても状況が改善しない場合は、ご利用場所のネットワークに問題がある可能性があります。同じ環境で他の機器が正常に通信可能か確認してください。
スピーカーから音が出ない／話さない	音量設定が「０」になっている可能性があります。 アプリケーション一覧から操作する場合 1．本機の電源が入っている場合、ディスプレイをタッチしてアプリケーション一覧を表示させてください。 2．設定画面で音量調整をしてください。 対策を実施しても状況が改善しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
頭が動かない	肩の LED ランプを確認してください。黄色または赤色になっている場合は「18 表示と通知情報」を参照して、内容を確認してください。
手（腕）が動かない／動きが滑らかでない	・肩の LED ランプを確認してください。黄色または赤色になっている場合は「18 表示と通知情報」を参照して、内容を確認してください。 ・セーフティ機能が動作しているときは、安全のため腕の動作

	が制限されます。次の場合、セーフティ機能が動作する可能性があります。 -周囲（50cm 以内）に障害物がある場合 -外光や照明の影響がある場合 周囲の灯りの影響を受けない場所で動作するか確認してください。
カメラで写真を撮れない	・肩の LED ランプを確認してください。黄色または赤色になっている場合は「18 表示と通知情報」を参照して、内容を確認してください。 ・カメラがふさがれていたり、カメラに異物が付着していたりすると、写真撮影ができません。カメラの位置については「5 本機について」および「22 レーザーおよびセンサーの検知範囲について」を参照してください。
充電器が熱い	・ストーブなどの熱源の近くには置かないでください。 ・手に持てないほど熱くなっている場合は、故障の可能性があります。速やかに本機とコンセントから充電器を取り外して、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
本機の前に立っても反応がない／人を認識しない	・肩の LED ランプを確認してください。黄色または赤色になっている場合は「18 表示と通知情報」を参照して、内容を確認してください。 ・次の条件では人を認識できない可能性があります。周囲の灯りの影響を受けない場所で動作するか確認してください。 -逆光 -外光や照明の影響がある場合 ※上記を行っても問題が解決しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
胸部ボタンを押しても反応がない（本機電源 ON 時）	・肩の LED ランプを確認してください。黄色または赤色になっている場合は「18 表示と通知情報」を参照して、内容を確認してください。 ・胸部ボタンを 5 秒間長押し（強制シャットダウン）して、電源が切れるか確認してください。電源が切れない場合は、緊急停止ボタン（「5.2 緊急停止ボタン」参照）を押してから再起動してください。
パーツが外れてしまった	本機のパーツが外れてしまった場合は、電源を切って、充電器を取り外した状態で保管してから、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
日本語を話さない	言語設定が「日本語」に設定されていない可能性があります。

	アプリケーション一覧から操作する場合 １．本機の電源が入っている場合、ディスプレイをタッチしてアプリケーション一覧を表示させてください。 ２．設定画面で言語を変更してください。
起動しない	・緊急停止ボタン（「5.2 緊急停止ボタン」参照）を解除して電源が入るか確認してください。 ・バッテリーが充電されていない可能性があります。充電器を繋げた状態で起動させてください。バッテリー残量が少なくなっている場合は、十分に充電してから使用してください（「7.6.1 充電器を接続する」参照）。
ディスプレイが反応しない／表示が変化しない／表示されない／表示がおかしい	ディスプレイの動作が不安定になっている可能性があります。胸部ボタンを３秒間長押しして電源を切ってから、本機を再起動してください。 ※上記を行っても問題が解決しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
充電器を接続しているが、充電器の LED ランプが点灯しない	次の内容を確認してください。 -充電器のケーブルが正常に本機に接続されているか -電源プラグが正常にコンセントに差し込まれているか ※上記を行っても問題が解決しない場合は、Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。

20. 用語集

青いピン（腰用）	青いピンとは腰用のピンです。取り付けると姿勢保持機能が解除され、本機が直立できなくなります。腰の挿入口専用です。
アプリケーション一覧	アプリケーション一覧とは本機のディスプレイをタッチすると表示される画面です。アプリケーション一覧からはロボアプリへのアクセスおよび起動、設定画面やアプリストアにアクセスすることができます。

アプリストア	本機専用のロボアプリが用意されているのがアプリストアです。ディスプレイ（「Pepper 基本プラン」ご加入者のみ）またはパソコン、スマートフォンおよびタブレットからアクセスできます。
Autonomous Life	Autonomous Life とは本機が人間らしく行動している（呼吸など）とみせるための細かな言動の元となっている機能のことを指します。
各種設定	各種設定は本機の一部の機能のはたらきを設定するのに役立ちます。音量調整や Wi-Fi ネットワークなどを変更することができます。
かんたんセットアップガイド	かんたんセットアップガイドは納品時に本機と同封されている資料です。
基本姿勢	基本姿勢は本機が起動しているときの標準姿勢です。
胸部ボタン	胸部ボタンは本機の胸部のディスプレイのすぐ下にあるボタンです。本機の電源を入れる／切る、通知情報を聞く、およびレスト状態にする／解除するのに役立ちます。
緊急停止ボタン	緊急停止ボタンとは本機への電気供給をすべて停止する緊急装置です。本機に危険が迫っているとき、本機が周囲に損害を与えそうなときに利用します。
Choregraphe	Choregraphe は本機の言動をバーチャル環境でテストするのに役立つソフトウェアです。
姿勢	姿勢とは本機の関節の配置状態を指します。主に 2 つの姿勢があります。基本姿勢とセーフレストの姿勢です（「5.8 姿勢」参照）。
充電フラップ	充電フラップは充電スロットを保護しているパーツです。本機の底部にあります。開いているとホイールが停止して、本機が充電中に不用意に移動することを防ぎます。充電中以外でも、安全対策として開けておくことが可能です。充電フラップが開いた状態でも本機とのコミュニケーションはとれます。
白いピン（ひざ用）	白いピンとはひざ用のピンです。取り付けると姿勢保持機能が解除され、本機が直立できなくなります。ひざの挿入口専用です。
スリープ	スリープ状態の本機は周囲に反応しません。
設定画面	設定画面では本機の一部の機能を設定（音量や Wi-Fi ネットワークなど）することができます。

挿入口	腰およびひざの左側に挿入口はあります（「5.1 各部の名称」参照）。
チュートリアル	チュートリアルとは初期設定が完了したあとに本機が行う説明および自己紹介のことです。ヘルプアプリからも確認できます。 ※「Pepper 基本プラン」ご加入者のみ
通知情報	本機は音声と LED ランプ表示で通知があることをお知らせします。通知情報の内容は一般情報、注意事項、警告を含みます。
NAOqi	NAOqi は Aldebaran が開発した本機のオペレーティングシステムです。
Pepper IP アドレス	本機の IP アドレスによっての本機の設定管理ウェブページにアクセスできます。
Pepper 基本プラン	「Pepper 基本プラン」の詳細については次のリンクでご覧ください。 http://www.softbank.jp/robot/price/basic/
Pepper テクニカルサポートセンター	本機に問題が発生した場合は Pepper テクニカルサポートセンターに連絡してください。
レスト状態	本機のレスト状態とは、モーターが関節に一切の保持機能を働かせていない状態を指します。
ロボアプリ	本機に対応しているロボアプリというのは一般的なアプリケーションと同様の特徴を有しています。本機の機能を充実させ、可能性を広げます。

21. 仕様

21.1. 本機

使用範囲周囲温度	5 ℃ ～ 35℃
保管範囲周囲温度	-10℃ ～ 60℃
使用範囲湿度	10% ～ 80%
保管範囲湿度	10% ～ 90%
サイズ（高さ）	120.85 cm
重量	27.82 kg
機体（白）／胸部ボタン	ABS-PC + Paint / UVcoating
機体（グレー）	PA + GF resin
ソフトパーツ	ABS-PC + TPV + Paint / UV coating, TPV + Paint / UV coating
ベース下部	ABS-PC, ABS-PC + Paint / UV coating
ベースカメラレンズ	PC
オムニホイール	PA + GF resin, PA + GF resin + TPU
スピーカーメッシュ／マイクメッシュ	Steel + Paint
LED ランプ（肩）	PMMA
目	PC + Ir ink, PC + Paint / UVcoating
耳	PC + Paint / UV coating
口	ABS
指	ABS-PC + Paint / UV coating, PA + GF resin, Silicone
腰ゴム	TPU
充電口	ABS-PC
充電端子	Brass
青いピン（腰用）	Steel alloy + Silicone
白いピン（ひざ用）	ABS-PC

21.2. 充電器

使用範囲周囲温度	- 5 ℃ ～ 40℃

保管範囲周囲温度	-20℃ ～ 70℃
使用範囲湿度	10% ～ 80%
保管範囲湿度	5% ～ 95%
電源	100 ～ 240V AC
出力電圧	29.2V DC（満充電時）
出力電流	8.0A
サイズ（高さ x 奥行 x 幅）	204 x 104 x 45 mm
電源ケーブルの長さ	1.75 m
重量	1.2 kg
本体使用材料	PC

22. レーザーおよびセンサーの検知範囲について

本機はセンサーで周囲の安全を確認していますが、センサーには検知できない範囲があります。本章をお読みになって、本機の検知範囲を把握することをおすすめします。

本機の搭載センサー

・カメラ
・3D センサー
・レーザーセンサー
・ソナーセンサー
・マイク
・スピーカー

センサーの検知範囲

40cm
45°
50cm
71°
85cm
60°
12°
60°
18.5°
27cm
22cm
11.5°
18°
64cm
42cm
100cm
3cm
3cm

60°
2°
50 cm
50 cm
2°
60°
60°
60°
60°
30°
30°
60°

22.3cm
22.3cm
19.3cm
22.3cm
28.1cm
22.9cm
24.3cm
25.9cm

3Dセンサーの検知範囲
ソナーセンサーの検知範囲
赤外線センサーの検知範囲
レーザーセンサーの検知範囲（水平方向）
レーザーセンサーの検知範囲（垂直方向）
各センサーの検知範囲外

23. 安全に関する図記号について

23.1. 本機

	CE 指令／規則に準拠しています。 1999/05/EC（R & TTE 指令） 2011/65/UE（RoHS2 指令）
	WEEE 指令に準拠しています。 廃電気・電子製品に関する 2002/96/EC 欧州連合指令
	屋内使用のみ
	日本における特定無線設備を内蔵しています。
	中国 標高 2000m 以上で使わないでください。
	中国 熱帯気候の地域では使わないでください。
	クラス 1 M レーザー
	VCCI に準拠しています。 この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 本書に従って正しい取り扱いをしてください。
	米国・カナダ 本機は、FCC（連邦通信委員会）第 15 項に基づくクラス B のデジタル機器に関する基準に準拠していることが実証されています。上記の規則は本機を住宅環境で使用した場合に、電波障害から適切に防護することを目的としています。本機は高周波エネルギーを発生、使用および放射します。本書と異なる方法で設置・使用した場合、無線通信に電波障害を起こす恐れがあります。一部の取り扱いにおいては電波障害を起こす恐れがあります。本機がラジオやテレビジョン電波の受信障害を起こしている場合、本機の電源をオン／オフにして確認してください。受信障害が確認された場合は、使用者が次の対策で問題解決

	することをおすすめします。 ・受信アンテナの設置方向または設置位置を変更する ・本機と受信機をさらに離す ・本機と受信機を異なる配電回路につなぐ ・販売業者または無線通信技師にお問い合わせください。 本機の分解・改造・ハンダ付けは Aldebaran より署名入り許可証が発行されない限り、絶対にしないでください。 許可なく改造した場合、FCC 機器認証対象外となり、Aldebaran の保証対象外となりますのでご了承ください。 本機の動作は次の 2 つの条件に規制されます。（1）電波障害を起こさないこと、かつ（2）誤作動の原因となる電波障害を含む、受信したすべての電波障害に対して正常に動作すること。 FCC およびカナダ産業省の高周波曝露基準を遵守する場合、本送信機のアンテナを人およびその他の送信中アンテナから 20cm 以上離して使用してください。

23.2. 充電器

PS E	日本の電気用品安全法（特定電気用品）に準拠しています。
CE	CE 指令／規則に準拠しています。
	WEEE 指令に準拠しています。 廃電気・電子製品に関する 2002/96/EC 欧州連合指令
	屋内使用のみ
	二重絶縁を使った感電保護クラス IEC 60 950（Class II）に準拠した装置です。
BC	CEC（カリフォルニアエネルギー委員会）に準拠した充電器です。
V+ V-	直流端子極性
	交流
	直流